

# 歯科衛生士国家試験 全国総合模擬試験

D e n t a l H y g i e n i s t

解答・解説・  
要点集(基礎系)

331

令和4年版出題基準による出題科目一覧

問題番号	科目
午前問題	
1	一、人体(歯・口腔を除く。)の構造と機能
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	三、疾病の成り立ち及び回復過程の促進
12	
13	
14	
15	
16	四、歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	五、歯科衛生士概論
27	
28	
29	
30	
31	六、臨床歯科医学
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	七、歯科予防処置論
42	
43	
44	
45	
46	
47	
48	
49	
50	
51	八、臨床歯科医学
52	
53	
54	
55	
56	
57	
58	
59	
60	
61	九、歯科診療補助論
62	
63	
64	
65	
66	
67	
68	
69	
70	
71	七、歯科予防処置論
72	
73	
74	
75	
76	
77	
78	
79	
80	
81	八、歯科保健指導論
82	
83	
84	
85	
86	
87	
88	
89	
90	
91	九、歯科診療補助論
92	
93	
94	
95	
96	
97	
98	
99	
100	
101	五、歯科衛生士概論
102	
103	
104	
105	
106	六、臨床歯科医学
107	
108	
109	
110	

問題番号	科目
74	七、歯科予防処置論
75	
76	
77	
78	
79	
80	
81	
82	
83	
84	八、歯科保健指導論
85	
86	
87	
88	
89	
90	
91	
92	
93	
94	九、歯科診療補助論
95	
96	
97	
98	
99	
100	
101	
102	
103	
104	
105	
106	五、歯科衛生士概論
107	
108	
109	
110	
午後問題	
1	一、人体(歯・口腔を除く。)の構造と機能
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	三、疾病の成り立ち及び回復過程の促進
12	
13	
14	
15	
16	四、歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	五、歯科衛生士概論
27	
28	
29	
30	
31	六、臨床歯科医学
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	七、歯科予防処置論
42	
43	
44	
45	
46	
47	
48	
49	
50	
51	八、臨床歯科医学
52	
53	
54	
55	
56	
57	
58	
59	
60	
61	九、歯科診療補助論
62	
63	
64	
65	
66	
67	
68	
69	
70	
71	七、歯科予防処置論
72	
73	
74	
75	
76	
77	
78	
79	
80	
81	八、歯科保健指導論
82	
83	
84	
85	
86	
87	
88	
89	
90	
91	九、歯科診療補助論
92	
93	
94	
95	
96	
97	
98	
99	
100	
101	五、歯科衛生士概論
102	
103	
104	
105	
106	六、臨床歯科医学
107	
108	
109	
110	

問題番号	科目
37	七、歯科予防処置論
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	
46	
47	六、臨床歯科医学
48	
49	
50	
51	
52	
53	
54	
55	
56	
57	七、歯科予防処置論
58	
59	
60	
61	
62	
63	
64	
65	
66	
67	八、臨床歯科医学
68	
69	
70	
71	
72	
73	
74	
75	
76	
77	八、歯科保健指導論
78	
79	
80	
81	
82	
83	
84	
85	
86	
87	九、歯科診療補助論
88	
89	
90	
91	
92	
93	
94	
95	
96	
97	
98	
99	
100	
101	五、歯科衛生士概論
102	
103	
104	
105	
106	六、臨床歯科医学
107	
108	
109	
110	

解答一覧表

午前問題			
問題	正解	問題	正解
1	c	56	a
2	c	57	d
3	d	58	b
4	b	59	b、c
5	c	60	c
6	c	61	c
7	b	62	a、c
8	b	63	c、d
9	b	64	a、d
10	d	65	a
11	b	66	d
12	b	67	b
13	d	68	c、d
14	d	69	b、c
15	c	70	d
16	a	71	a、d
17	a	72	d
18	c	73	c
19	d	74	a、b
20	b	75	a
21	a、c	76	a、c
22	c、d	77	d
23	a	78	d
24	c	79	d
25	a	80	d
26	d	81	c
27	a、c	82	b、c
28	d	83	c
29	a、c	84	b、d
30	b	85	c
31	d	86	d
32	c	87	d
33	a	88	a、b
34	a、c	89	c、d
35	d	90	d
36	d	91	b
37	a	92	c
38	b	93	b
39	d	94	a
40	c、d	95	a
41	c	96	b、d
42	b、c	97	c、d
43	d	98	b
44	a、c	99	b、d
45	b	100	b
46	b、c	101	a、d
47	a、c	102	d
48	a	103	b、d
49	b	104	c
50	a、d	105	b
51	a	106	d
52	b	107	c、d
53	d	108	c
54	b	109	a、d
55	a、d	110	d

午後問題			
問題	正解	問題	正解
1	a	56	a
2	d	57	a、d
3	d	58	a、c
4	c	59	c
5	b	60	c
6	d	61	a
7	c	62	d
8	a	63	d
9	b	64	b、d
10	a	65	b
11	a	66	b
12	a	67	c
13	d	68	b
14	b	69	d
15	c	70	a、b
16	b	71	b
17	d	72	c
18	c	73	c、d
19	a、b	74	b、d
20	b	75	b、c
21	c	76	d
22	a、d	77	d
23	b	78	a、d
24	d	79	a、c
25	b	80	c、d
26	b、c	81	d
27	c	82	c、d
28	a	83	c、d
29	d	84	b、c
30	b	85	a、c
31	a	86	c
32	a、b	87	a、b
33	d	88	c
34	a、c	89	d
35	d	90	a
36	d	91	d
37	a、c	92	b
38	b、c	93	a、c
39	b、d	94	b、c
40	a、b	95	b
41	b	96	d
42	c、d	97	a
43	a、b	98	b、d
44	b、d	99	a、c
45	a、d	100	c、d
46	c、d	101	b、d
47	b、d	102	a、d
48	c	103	d
49	d	104	a、b
50	b	105	c
51	a	106	a
52	c	107	a
53	c	108	d
54	a、b	109	a、c
55	c	110	a、d

331


午前問題…………… 解答・解説

本書で使用しているアイコンについて

 要点集 331:P〇〇

例) 331号掲載

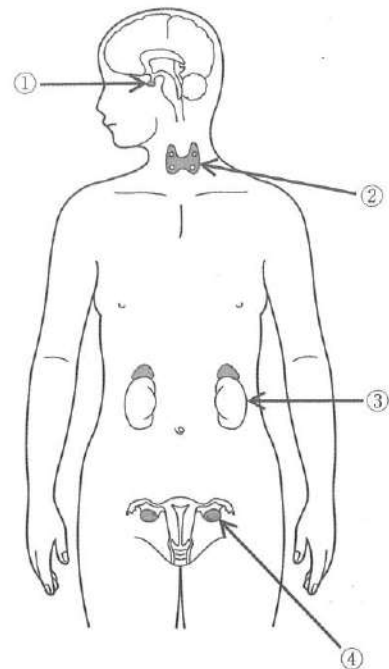
「巻末資料 要点集」に関連事項が掲載されております。  
アイコンに記載された掲載号の該当ページを参照してください。

 DH24:P〇〇

例) 2024年版掲載

弊社刊行「Complete+ DH 歯科衛生士 国家試験完全攻略 2024年版」に掲載された関連問題です。  
アイコンに記載された掲載号の該当ページを参照してください。

【問題 1】 内分泌器官を模式図に示す。



血中カルシウム濃度を上昇させるホルモンが分泌されるのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶生理学

選択肢考察

- × a ①は下垂体である。下垂体前葉からは成長ホルモンやプロラクチン、下垂体後葉からはバソプレッシンやオキシトシンが分泌される。
- × b ②は甲状腺である。甲状腺からは基礎代謝を促進させるサイロキシンや血中カルシウム濃度を低下(骨吸収抑制)させるカルシトニンが分泌される。
- c ③は腎臓である。腎臓からは血中カルシウム濃度を上昇(骨吸収促進)させるビタミンD<sub>3</sub>が分泌される。
- × d ④は卵巣である。卵巣からはエストロゲンやプロゲステロンが分泌される。

正解 c

📖 要点集 331:P22

【問題 2】 内頭蓋底の写真(別冊午前 No. 1)を別に示す。

矢印で示す孔を通過する神経が支配するのはどれか。1つ選べ。

- a 舌の運動
- b 舌の味覚
- c 咀嚼筋の運動
- d 表情筋の運動

▶解剖学

No. 1



📖 要点集 331:P5

選択肢考察

- × a 舌の運動を支配するのは舌下神経で、内頭蓋底での通過部位は舌下神経管である。
- × b 舌の味覚は、舌体部(舌前方2/3)を顔面神経の鼓索神経が、舌根部(舌後方1/3)を舌咽神経が支配する。内頭蓋底での通過部位はそれぞれ内耳孔と頸静脈孔である。
- c 矢印で示す孔は卵円孔である。卵円孔を通過する三叉神経第3枝の下顎神経は、咀嚼筋の運動を支配する。
- × d 表情筋の運動を支配するのは顔面神経で、内頭蓋底での通過部位は内耳孔である。

正解 c

【問題 3】 シャーピー線維が入り込むのはどれか。1つ選べ。

- a 歯根膜
- b 象牙質
- c エナメル質
- d セメント質

▶解剖学

選択肢考察

- × a、○ d 歯根のセメント質と固有歯槽骨の間に存在する線維性結合組織を歯根膜という。歯根膜を構成するコラーゲン線維(主線維)のうちセメント質及び固有歯槽骨に入り込んだ部分はシャーピー線維といい、歯の支持や咬合力の緩衝などの機能を有する。
- × b 象牙質を構成する有機成分の大半がI型コラーゲンであるが、これはシャーピー線維ではない。
- × c エナメル質にはコラーゲン線維自体存在しない。

正解 d

📖 要点集 331:P14

[問題 4] 歯根膜の機能と関係するのはどれか。1つ選べ。

- a 下顎張反射
- b 咬合力の調節
- c 象牙質の知覚
- d 下顎安静位の保持

▶生理学

## 選択肢考察

- × a 下顎張反射は下顎を下方へ引っ張ることにより、閉口筋の筋紡錘が筋肉の長さ(伸び)を感じ取り、閉口筋を収縮させ閉口が起こる反射である。歯根膜の機能とは関係しない。
- b 歯根膜の感覚には、歯の触圧覚、歯根膜の痛覚、固有感覚がある。歯根膜の固有受容器から生じる固有感覚は、咀嚼筋の収縮状態を歯根膜咬筋反射で調整し、咀嚼時の咬合力の自動調節に関与している。
- × c 歯根膜から象牙質の知覚を刺激する機能はない。象牙質を刺激して生じる感覚は痛覚のみであり、感覚神経線維はAδ線維とC線維である。
- × d 下顎安静位は下顎張反射が関与している。歯根膜の機能とは関係しない。

正解 b

📖 要点集 331:P25

[問題 5] 移行上皮がみられるのはどれか。1つ選べ。

- a 鼻腔
- b 尿管
- c 膀胱
- d 口腔粘膜

▶解剖学

## 選択肢考察

- × a 鼻腔は線毛上皮である。
- × b 尿管は立方上皮である。
- c 膀胱は移行上皮である。移行上皮は伸び縮みして上皮の形が変化する特徴をもつ。
- × d 口腔粘膜は重層扁平上皮である。

正解 c

📖 要点集 331:P16

[問題 6] 神経外胚葉由来なのはどれか。1つ選べ。

- a 顎下腺
- b 耳下腺
- c 象牙質
- d エナメル質

▶解剖学

## 選択肢考察

- × a 顎下腺は内胚葉由来である。
- × b 耳下腺は体表外胚葉由来である。
- c 象牙質は神経外胚葉の神経堤由来である。
- × d エナメル質は体表外胚葉由来である。

正解 c

📖 要点集 331:P11

## 要点

◎ 三胚葉から生じる主な器官と組織

胚葉		主な器官・組織	
外胚葉	体表外胚葉	表皮、口腔粘膜上皮(主に口腔前庭)、エナメル質、耳下腺	
	神経外胚葉	神経管	中枢神経系(脳、脊髄)
		神経堤	末梢神経系、頭蓋骨(前面)、歯髄、象牙質、セメント質*、歯周組織*
内胚葉	口腔粘膜上皮(主に固有口腔)、顎下腺、舌下腺、消化管、肝臓、膵臓、呼吸器系(喉頭～肺)		
中胚葉	体節	骨格筋**、真皮・皮下組織***、骨****	
	中間中胚葉	泌尿器、生殖器	
	側板中胚葉	血管、血液	

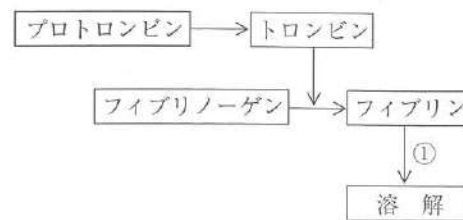
\* セメント質は歯周組織にも含まれる

\*\* 鰓弓の骨格筋は鰓弓内の中胚葉から生じる

\*\*\* 頭頸部では神経堤からも生じる

\*\*\*\* 神経堤由来以外の全身のほとんどの骨

[問題 7] 血液凝固と線溶系の図を示す。



①で示す段階で作用するのはどれか。1つ選べ。

- a アスピリン
- b プラスミン
- c ペニシリン
- d リドカイン

▶生理学

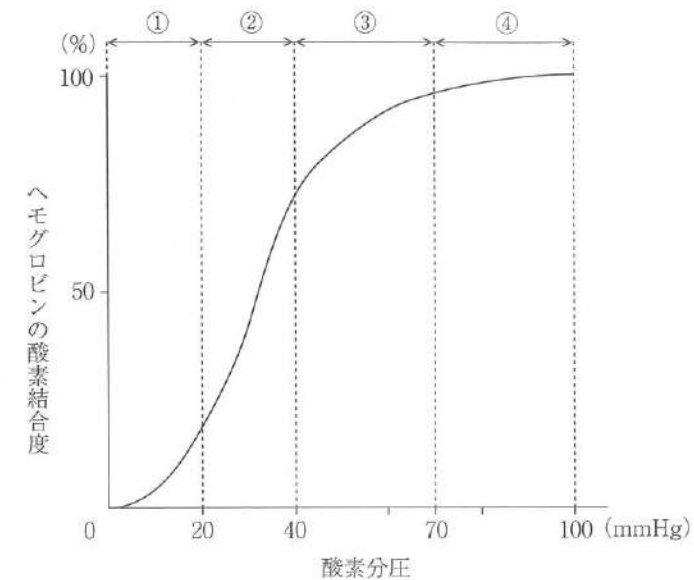
選択肢考察

- × a アスピリンは非ステロイド性抗炎症薬の1つで、アラキドン酸カスケードにおけるシクロオキシゲナーゼを阻害することで抗炎症作用を発現する。アスピリンには抗炎症作用のほかに、血小板凝集抑制作用があり、低用量で抗血栓薬として用いられる。
- b 線溶系(線維素溶解系)とは、止血のために形成されたフィブリン(線維素)を分解・除去するものである。プラスミンは血液中に存在するタンパク分解酵素で、止血後に不要となったフィブリンを分解する作用をもつ。
- × c ペニシリンは細胞壁合成阻害作用をもつ抗菌薬である。
- × d リドカインはアミド型歯科用局所麻酔薬である。

正解 b

📖 要点集 331:P21

[問題 8] ヘモグロビンの酸素解離曲線を図に示す。



ヘモグロビンが酸素を解離しやすい領域はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶生理学

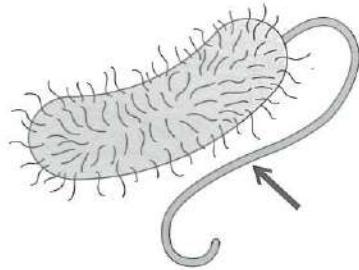
選択肢考察

- × a ①はほぼ酸素が存在していない領域である。
- b ②は曲線の傾きが急な領域で、少しの酸素濃度変化で酸素を結合または解離しやすい状態である。ヘモグロビンと酸素は、酸素濃度(分圧)が高いほどよく結合する性質をもつ。この関係を示すグラフを酸素解離曲線という。
- × c、× d ③、④は酸素が高濃度の領域で、酸素を解離しにくい状態である。

正解 b

📖 要点集 331:P23

【問題 9】 細菌の模式図を示す。



矢印で示す構造物を有するのはどれか。1つ選べ。

- a *Tannerella forsythia*
- b *Treponema denticola*
- c *Fusobacterium nucleatum*
- d *Porphyromonas gingivalis*

▶微生物学

選択肢考察

- × a *Tannerella forsythia* は、紡錘状のグラム陰性偏性嫌気性桿菌で、慢性歯周炎の活動期に病巣局所から分離されるが、鞭毛はもたず運動性はない。
- b 模式図の矢印は、細菌の運動に関与する鞭毛である。*Treponema denticola* はスピロヘータの一種で、鞭毛をもつ運動性のあるらせん状菌である。活動性の歯周病の病変における分離比率が高く、*Tannerella forsythia* や *Porphyromonas gingivalis* とともにレッドコンプレックスを構成する菌種である。
- × c *Fusobacterium nucleatum* は紡錘状のグラム陰性偏性嫌気性桿菌で、壊死性潰瘍性歯肉炎や慢性歯周炎との関連が指摘されている。鞭毛はもたず運動性はない。
- × d *Porphyromonas gingivalis* は慢性歯周炎の主要原因細菌の一つである。細胞表面に線毛をもち、歯肉上皮への付着・侵入や赤血球凝集に関与するが、鞭毛はもたないため運動性はない。

正解 b

📖 要点集 331:P42

【問題 10】 長期使用により満月様顔貌を呈するのはどれか。1つ選べ。

- a 降圧薬
- b 抗菌薬
- c 免疫抑制薬
- d 副腎皮質ステロイド薬

▶薬理学

選択肢考察

- × a、× b、× c 降圧薬、抗菌薬、免疫抑制薬の長期使用によって顔貌変化は生じない。
- d 満月様顔貌（ムーンフェイス）は副腎皮質ステロイド薬を長期に服用した場合にみられる。

正解 d

📖 要点集 331:P64

【問題 11】 先天異常をもたらすのはどれか。1つ選べ。

- a 水痘
- b 風疹
- c 麻疹
- d ヘルパンギーナ

▶病理学

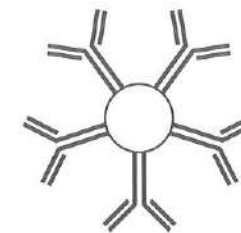
選択肢考察

- × a 水痘・带状疱疹ウイルスはヘルペスウイルス群に属し、初感染後に神経節内に潜伏したウイルスが再活性化すると带状疱疹が起きる。
- b 風疹は風疹ウイルスの飛沫感染により発症する。発疹、発熱、リンパ節腫脹が三大徴候である。妊娠16週までの妊婦に風疹ウイルスが初感染した場合、胎児に先天性風疹症候群といわれる奇形が生じる場合がある。
- × c 麻疹は麻疹ウイルスの空気感染により発症する。病態として二峰性の発熱が特徴的で、二度目の発熱は高熱を発生し、全身の発疹を伴う。二度目の発熱と発疹の1~2日前には頬粘膜に粟粒大の灰白色の斑点（Koplik 斑）が出現する。
- × d ヘルパンギーナはコクサッキーウイルス A 群により、口峡部に特有の小水疱を生じ、発熱を起こす夏風邪の一種である。

正解 b

📖 要点集 331:P38

【問題 12】 免疫グロブリンの図を示す。



この免疫グロブリンの特徴はどれか。1つ選べ。

- a 唾液中に含まれる。
- b 初期抗体の主体をなす。
- c 血清中に最も多く存在する。
- d I型アレルギーの発症に関与する。

▶微生物学

選択肢考察

- × a 唾液や乳汁などの分泌液中に含まれるのは分泌型 IgA (sIgA) である。分泌型 IgA は粘膜の感染防御に関与する。
- b 模式図は抗体5分子がつながった5量体で、IgMを示している。IgMは抗原感作後、最も早く出現し、初期抗体の主体をなす。
- × c 血清中に最も多く存在するのは IgG である。
- × d I型アレルギー（即時型アレルギー）の発症に関与するのは IgE である。

正解 b

📖 要点集 331:P30

[問題 13] 不活化ワクチンが使用されるのはどれか。1つ選べ。

- a 風疹
- b 麻疹
- c 破傷風
- d B型肝炎

▶微生物学

選択肢考察

- × a、× b 風疹、麻疹のワクチンは生ワクチンである。生ワクチンは病原性を弱めた(弱毒化)病原体を抗原として用いるワクチンである。
- × c 破傷風のワクチンはトキソイドである。トキソイドは細菌毒素の抗原性を失わないようにホルマリンで無毒化したもので、毒素に対する抗体の産生を目的としている。
- d B型肝炎のワクチンは不活化ワクチンである。不活化ワクチンは病原体を熱や化学処理により不活性化化したもので、感染力はないため、生ワクチンと比較して副作用が少ない。また、抗原部分のみを遺伝子組み換えなどにより培養・産生したものを成分ワクチンという。

正解 d

📖 要点集 331:P29

[問題 14] 補充療法に用いられるのはどれか。1つ選べ。

- a 抗菌薬
- b 抗炎症薬
- c ワクチン
- d ビタミン剤

▶薬理学

選択肢考察

- × a 抗菌薬は原因となっている細菌を除去するものであり、原因療法に用いられる。
- × b 抗炎症薬は、症状を軽減させるものであり、対症療法に用いられる。
- × c ワクチンは獲得免疫を得るために用いられ、予防療法に該当する。
- d ビタミン剤は欠乏により生じた生体の機能を回復させるために用いられ、補充療法に該当する。薬物による治療を薬物療法という。薬物療法にはその目的や作用機序によって、原因療法、対症療法、補充療法、予防療法に分けられる。補充療法とは、体内で不足した物質を補充する薬物療法である。

●薬物療法の目的

- ・原因療法：疾病の病因(原因)となった元を薬物によって除去し、完全治癒に向かわせる療法をいう。原因療法は抗菌薬、抗悪性腫瘍薬、解毒薬が相当する。
- ・対症療法：疾病の病因(原因)となった元を除去できずに、その疾病の病因(原因)によって生じた症状のみを軽減させることによって、患者の苦痛を和らげるような療法をいう。対症療法は解熱・消炎鎮痛薬、糖尿病治療薬、催眠剤などが相当する。
- ・予防療法：病気の発症を予防する目的で行う療法をいう。予防療法は予防接種やワクチンが相当する。
- ・補充療法：体の機能維持に必要なものを補充する、またはそれらの物質が欠如した場合に補充する療法をいう。補充療法はホルモン剤やビタミン剤、鉄剤などが相当する。

正解 d

📖 要点集 331:P63

[問題 15] 擦過により除去できない白色病変の写真(別冊午前 No. 2)を別に示す。

白色病変の主体をなす病理組織所見はどれか。1つ選べ。

- a 線維増生
- b 血管増殖
- c 上皮肥厚
- d メラニン色素沈着

▶病理学

選択肢考察

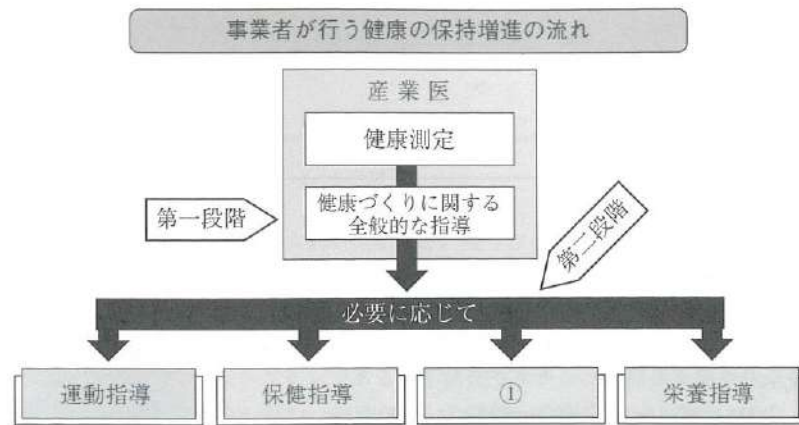
- × a 線維増生を示す病変として、歯肉増殖症や義歯性線維腫があるが、舌表面に白色病変を呈することはない。
- × b 血管増殖は血管腫でみられ、頬粘膜に好発する赤色を呈する腫瘤である。
- c 白板症は、口腔粘膜に生じる白色の板状あるいは斑状の角化性病変で、擦過による除去はできない。組織学的には、上皮の肥厚、角化の充進などを認める。写真は舌表面に付着している白色病変である。擦過により除去できないことから、舌表面の角化性病変であることがわかる。よって白板症が疑われる。
- × d メラニン色素沈着は、ポイツイエーガー症候群、アジソン病、フォンレックリングハウゼン病、アルブライト症候群などでみられるもので、黒褐色を呈する病変である。

No. 2



正解 c

[問題 16] 産業保健に関する模式図を示す。



① はどれか。1つ選べ。

- a メンタルヘルスケア
- b ノーマライゼーション
- c プライマリヘルスケア
- d ヘルスプロモーション

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a トータルヘルスプロモーションプラン (THP) は健康測定結果に基づき、第1段階として産業医が中心となり労働者の健康認識に応じた全般的な指導を行う。これを基に第2段階として、必要に応じて個別の健康指導を実施する。事業所における労働衛生管理の一環として、健康づくり対策の中にメンタルヘルスケアを位置づけている。
- × b ノーマライゼーションは、障害者や高齢者ができる限り健常者と同じ生活を営めるようにするための、今日の社会福祉の基本理念である。
- × c プライマリヘルスケアは、アルマ・アタ宣言の中で「各国や地域の一次健康管理を行うもの」とされている。
- × d ヘルスプロモーションはオタワ憲章において提唱された、新しい健康観に基づく21世紀の健康戦略である。

正解 a

DH24:P211

[問題 17] 自然的清掃法はどれか。1つ選べ。

- a 咀嚼
- b 歯磨剤
- c PMTC
- d ブラッシング

▶ 口腔衛生学

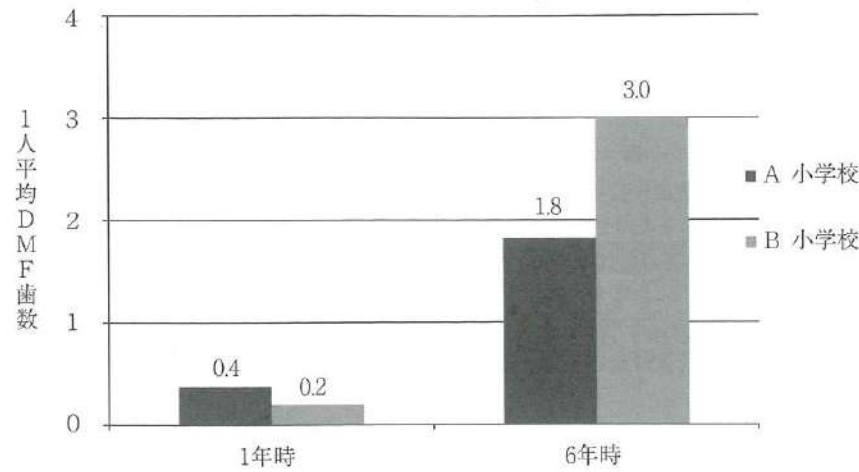
選択肢考察

- a 口腔清掃法には、自然的清掃法、機械的清掃法、手術的清掃法、化学的清掃法に分類される。自然的清掃法は、唾液による自浄作用や口腔機能(舌、口唇、口腔周囲筋)の働きによって、食物残渣などの沈着物を物理的・機械的な洗浄力で除去する清掃法である。
- × b 歯磨剤は化学的清掃法に分類される。
- × c PMTCは手術的清掃法に分類される。
- × d ブラッシングは機械的清掃法に分類される。

正解 a

DH24:P134

[問題 18] フッ化物洗口法を実施している A 小学校と実施していない B 小学校における 1 年時と 6 年時の 1 人平均 DMF 歯数を図に示す。



フッ化物洗口法によるう蝕抑制率はどれか。1つ選べ。

- a 30%
- b 40%
- c 50%
- d 60%

選択肢考察

○c う蝕抑制率の算出方法

$$\bullet \text{う蝕抑制率 (\%)} = \frac{\Delta C - \Delta T}{\Delta C} \times 100$$

ΔT: フッ化物洗口法を行っている学校 (A 小学校) の 1 人平均 DMF 歯数の増加数

ΔC: フッ化物洗口法を行っていない学校 (B 小学校) の 1 人平均 DMF 歯数の増加数

$$\begin{aligned} \bullet \text{う蝕抑制率 (\%)} &= \frac{(3.0 - 0.2) - (1.8 - 0.4)}{3.0 - 0.2} \times 100 \\ &= \frac{2.8 - 1.4}{2.8} \times 100 \\ &= 50 \end{aligned}$$

正解 c

DH24:P154

▶口腔衛生学

[問題 19] 職業性の歯の酸蝕症の原因物質はどれか。1つ選べ。

- a 黄リン
- b クロム
- c カドミウム
- d 二酸化硫黄

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a 黄リンは顎骨壊死や口内炎の原因となるが、歯質への影響はない。
- × b クロムは歯質への影響はない。
- × c カドミウムは歯質に沈着し黄色の着色を呈するが、酸蝕症は起こさない。
- d 二酸化硫黄は水溶液中で亜硫酸ガスを発生し、歯の酸蝕症の原因となる。

正解 d

[問題 20] 1 歳 6 か月児歯科健康診査の結果を表に示す。

う蝕罹患型	O <sub>1</sub>	O <sub>2</sub>	A	B	C
人数	10	30	5	4	1

う蝕有病者率はどれか。1つ選べ。

- a 10%
- b 20%
- c 50%
- d 80%

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

○b う蝕有病者率は以下の式で表され、設問では 20% と求めることができる。

$$\begin{aligned} \text{う蝕有病者率 (\%)} &= \frac{\text{う蝕有病者数}}{\text{被験者数}} \times 100 \\ &= \frac{(\text{A 型} + \text{B 型} + \text{C 型})}{(\text{O}_1 \text{ 型} + \text{O}_2 \text{ 型} + \text{A 型} + \text{B 型} + \text{C 型})} \times 100 \\ &= \frac{(5 + 4 + 1)}{(10 + 30 + 5 + 4 + 1)} \times 100 = 20 \end{aligned}$$

う蝕有病者率は全被験者のうち 1 歯以上う蝕のある者の割合を示している。したがって、全受診者のうち、A、B、C 型の者の割合を算出することで求められる。

◎ 1 歳 6 か月児歯科健康診査におけるう蝕罹患型判定区分

O <sub>1</sub> 型	う蝕がなく口腔環境もよいと認められるもの
O <sub>2</sub> 型	う蝕がないが口腔環境が良好でないもの
A 型	上顎前歯部のみ、または白歯部のみう蝕のあるもの
B 型	上顎前歯部及び白歯部にう蝕のあるもの
C 型	白歯部及び上下顎前歯部のすべてにう蝕があるもの

正解 b

DH24:P246

【問題 21】 歯科疾患実態調査の調査項目はどれか。2つ選べ。

- a 顎関節の状況
- b 認知機能の状況
- c う蝕とその処置状況
- d 日常生活動作の状況

▶口腔衛生学

選択肢考察

- a、c 歯科疾患実態調査の主な調査事項は、う蝕とその処置状況、歯肉の状況、歯列・咬合の状況、フッ化物の塗布状況、歯ブラシの使用状況、顎関節の状況、インプラントの状況、かみあわせの状況である。



歯科疾患実態調査の調査項目

正解 a、c

DH 24:P 155

【問題 22】 学校歯科保健の歯科健康診断でCOと判定するのはどれか。2つ選べ。

- a 歯頸部の知覚過敏
- b 裂溝部エナメル質の実質欠損
- c 小窩深部に到達する暗褐色の着色
- d 歯頸部平滑面エナメル質の脱灰を疑わせる白濁

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a 歯頸部の知覚過敏はCO(要観察歯)とはならない。
- × b 裂溝部エナメル質に限らず、歯質の実質欠損を認める歯をC(むし歯)と判定する。
- c、○ d 明らかなう蝕は確認できないが、う蝕の初期病変の徴候(白濁、白斑、褐色斑)を認め、進行すると治療を要する実質欠損を伴ったう蝕に至る可能性のある歯をCOと判定する。COは食生活習慣の改善や口腔清掃の確認など適切な保健指導により、う蝕の予防や進行抑制ができる歯である。

正解 c、d

DH 24:P 157

【問題 23】 医療法で定められている都道府県の業務はどれか。1つ選べ。

- a 医療計画の策定
- b 母子健康手帳の交付
- c 3歳児健康診査の実施
- d 口腔機能向上事業の実施

▶衛生学・公衆衛生学

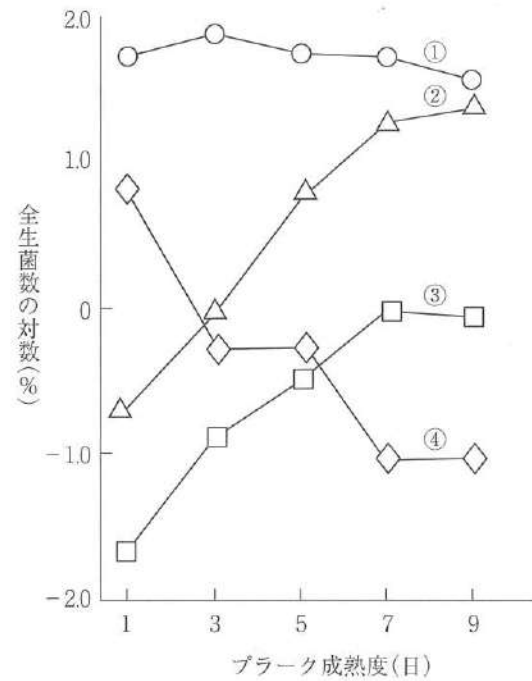
選択肢考察

- a 第三十条の四に「都道府県は、基本方針に即して、かつ、地域の実情に応じて、当該都道府県における医療提供体制の確保を図るための計画(以下「医療計画」という。)を定めるものとする。」とある。医療法は、医療を受ける者による医療に関する適切な選択を支援するために必要な事項、医療の安全を確保するために必要な事項、病院、診療所及び助産所の開設・管理整備・広告に関し必要な事項ならびに医療提供施設相互間の機能の分担及び業務の連携を推進するために必要な事項を定めること等により、医療を受ける者の利益の保護及び良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を図り、もって国民の健康の保持に寄与することを目的としている。医師、歯科医師、薬剤師、看護師その他の医療の担い手は、医療は、生命の尊重と個人の尊厳の保持を旨とする理念に基づき、医療を受ける者に対し、良質かつ適切な医療を行うよう努めなければならない。また、歯科医師や他の医療の担い手は、医療を提供するに当たり、適切な説明を行い、医療を受ける者の理解を得るよう努めなければならないとしている。
- × b 母子健康手帳の交付は母子保健法で規定されている。市町村が交付する。
- × c 3歳児健康診査の実施は母子保健法で規定されている。対象は、3歳1か月から4歳未満児である。
- × d 口腔機能向上事業とは、口腔機能が低下しているおそれがあるまたは低下している状態にある高齢者に対し、生活機能の維持・向上を通じて、要介護状態に陥らないように口腔機能低下の状態を早期に発見し、早期に改善することにより、自分らしい生活の確立と自己実現を支援する介護保険制度での介護予防通所リハビリテーション(デイケア)の選択サービスの1つとして位置づけられている。

正解 a

DH 24:P 182

[問題 24] プラーク中の構成細菌 (*Streptococcus*、*Actinomyces*、*Fusobacterium*、*Nocardia*) の経日変化の図を示す。



- ④ はどれか。1つ選べ。
- a *Actinomyces*
  - b *Fusobacterium*
  - c *Nocardia*
  - d *Streptococcus*

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a *Actinomyces* は ② である。*Actinomyces* は嫌気性菌のため、プラークの成熟とともに増加する。
- × b *Fusobacterium* は ③ である。*Fusobacterium* は嫌気性菌のため、プラークの成熟とともに増加する。
- c *Nocardia* は ④ である。*Nocardia* は好気性菌のため、プラークの成熟に伴い減少する。
- × d *Streptococcus* は ① である。*Streptococcus* は常に優位な菌である。

正解 c

📖 要点集 331:P40

[問題 25] 市町村が保険者であるのはどれか。1つ選べ。

- a 介護保険
- b 雇用保険
- c 健康保険
- d 厚生年金保険

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a 介護保険は市町村及び特別区が保険者である。
- × b、× d 雇用保険、厚生年金保険は政府が保険者である。
- × c 健康保険は被用者保険であり、全国健康保険協会、各企業の健康保険組合、共済組合などが保険者である。

正解 a

[問題 26] 唾液の機能と成分の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 緩衝作用 —— アミラーゼ
- b 消化作用 —— 重炭酸塩
- c 歯質保護作用 —— リゾチーム
- d 再石灰化作用 —— スタテリン

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a 緩衝作用は唾液の pH を一定に保つ作用で、重炭酸イオン ( $\text{HCO}_3^-$ ) が関与する。分泌型 IgA は抗菌作用を示す。
- × b 消化作用では唾液アミラーゼによりデンプンが麦芽糖 (マルトース) に分解される。
- × c 唾液中のムチンの働きにより、化学物質や細菌の刺激から歯質を保護する。リゾチームは細菌の細胞壁を障害することで抗菌作用を示す。
- d スタテリンは再石灰化に関与する。

正解 d

📖 要点集 331:P24

[問題 27] 人口動態統計の対象はどれか。2つ選べ。

- a 離婚
- b 就業
- c 死産
- d 国籍

▶衛生学・公衆衛生学

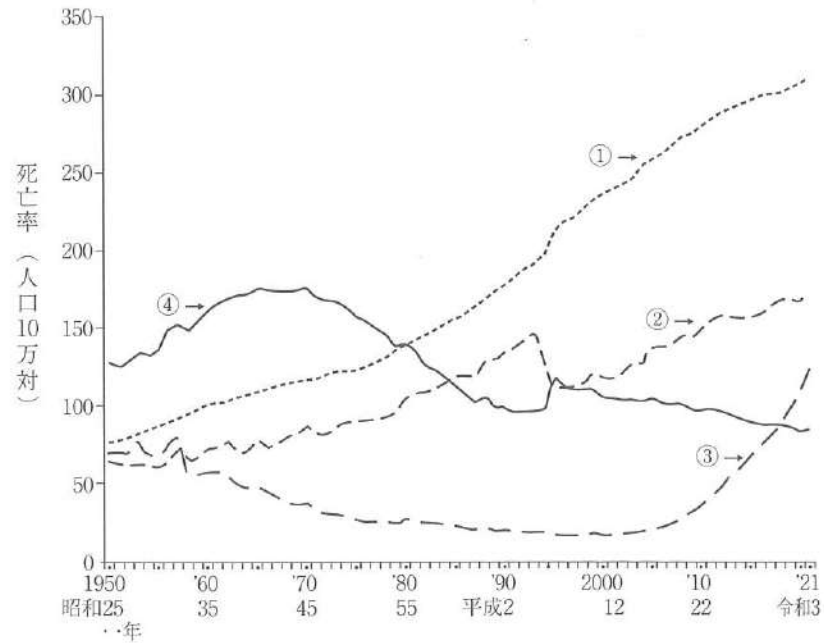
選択肢考察

- a、○ c 我が国の人口動態統計では、出生、死亡、死産、婚姻、離婚の 5 種類の事象を対象としている。
- × b、× d 就業、国籍は人口静態統計の調査事項である。

正解 a、c

📖 DH 24:P222

[問題 28] 我が国における主要死因別死亡率の年次推移(死因1位から4位)の図を示す。



脳血管疾患はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a ①は悪性新生物で、死因の第1位である。
- × b ②は心疾患で、死因の第2位である。
- × c ③は老衰で、死因の第3位である。
- d ④は脳血管疾患で、死因の第4位である。

正解 d

DH 24:P 226

[問題 29] 主として歯ブラシの毛先を用いるブラッシング法はどれか。2つ選べ。

- a フォーンズ法
- b ローリング法
- c スクラッピング法
- d チャーターズ法

▶ 口腔衛生学

選択肢考察

○ a、c ● ブラッシング方法の種類

	ブラッシング法	主目的
主として毛先を使う方法	①横みがき(水平法)	歯面清掃
	②縦みがき(垂直法)	歯面清掃
	③スクラッピング法(スクラッピング法)	歯面清掃
	④フォーンズ法(搦円法)	歯面清掃
	⑤バス法	歯肉溝、歯周ポケットの清掃
主としてブラシの脇腹でマッサージを行う方法	①ローリング法(ロール法)	歯肉マッサージ、歯面清掃
	②ステイルマン法	歯肉マッサージ
	③ステイルマン改良法	歯肉マッサージ、歯面清掃
	④チャーターズ法(チャーターズ法)	歯肉マッサージ

正解 a、c

DH 24:P 684

[問題 30] 歯磨剤の基本成分はどれか。1つ選べ。

- a 硝酸カリウム
- b 炭酸カルシウム
- c フッ化ナトリウム
- d 乳酸アルミニウム

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a、× c、× d 硝酸カリウム、フッ化ナトリウム、乳酸アルミニウムは薬効成分である。
- b 基本成分は清掃剤(研磨剤)、湿潤剤、発泡剤、粘結剤、香味剤、保存料などから構成される。

正解 b

DH 24:P136

要点

● 歯磨剤の基本成分名と配合目的・効用

	成分	作用
清掃剤 (研磨剤)	リン酸水素カルシウム、ピロリン酸カルシウム、水酸化アルミニウム、炭酸カルシウム、無水ケイ酸など	歯の表面を傷つけずにプラークや外来性色素沈着物、食物残渣を取り除く。
湿潤剤 (保湿剤)	グリセリン、ソルビトールなど	歯磨剤に適度な湿り気と可塑性を与える。
粘結剤 (結合剤)	カルボキシメチルセルロースナトリウム(CMC)、アルギン酸ナトリウム、カラギーナンなど	粉体と液体成分を結合させ、保型性を与えたり、適度の粘性を与える。
発泡剤	ラウリル酸ナトリウムなど	口腔内に歯磨剤を拡散させて、口腔内の汚れを洗浄する。
香味剤 (香料)	サッカリンナトリウム、メントール、ミント類など	香味の調和を図る。
保存料	パラベン類、安息香酸ナトリウムなど	歯磨剤の変質を防ぐ。

日本歯磨工業会、2018を改変

● 歯磨剤の薬用成分名と配合目的・効用

	効能	成分
う蝕予防	歯質強化、歯の再石灰化促進	フッ化ナトリウム、モノフルオロリン酸ナトリウム、フッ化第一スズ
う蝕・歯周病予防	プラークの分解、化学的清掃	デキストラナーゼ
	殺菌	クロルヘキシジングルコン酸塩、塩化セチルピリジニウム、塩化ベンゼトニウム、トリクロサンなど
歯周病予防	歯肉の炎症抑制	塩化リゾチーム、ヒノキチオール、グリチルリチン酸など
	収れん(歯肉の引き締め)	塩化ナトリウム、ヒノキチオール
	出血抑制	トラネキサム酸など
	血液循環促進	ビタミンE、酢酸トコフェロール
その他	歯石の沈着防止	ポリリン酸ナトリウム、ゼオライト、ピロリン酸ナトリウムなど
	知覚過敏抑制	乳酸アルミニウム、硝酸カリウム、塩化ストロンチウム
	口臭減弱	銅クロロフィリンナトリウムなど
	タバコのヤニ除去	ポリエチレングリコール

荒川、神原、安井、2014を改変

[問題 31] インフォームド・コンセントで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 一度同意したら撤回できない。
- b 保険治療の範囲内で説明する。
- c 初診時の医療面接の最初に行う。
- d ラポールの構築を目的としている。

▶歯科衛生士概論

選択肢考察

- × a インフォームド・コンセントとは、患者が誰にも強制されない状態で十分な医療上の情報公開を受け、その内容を理解した上で自分自身にとって最善と判断した診療プランに同意することである。撤回は患者の権利であるため、同意後の撤回も自由に行える。
- × b 保険治療の範囲内だけでなく、治療の選択肢はすべて説明する。
- × c 医療面接の最初ではなく、治療計画を提示した後に行う。
- d 医師、患者間の相互信頼関係(ラポールの形成)を目的とする。

正解 d

[問題 32] ヒヤリハットにあたる事例はどれか。1つ選べ。

- a 同姓同名の別の患者に処置をした。
- b オールセラミッククラウンを誤飲させた。
- c 処置前に治療予定部位の誤りに気付いた。
- d 手用スケーラーが触れ患者の口唇から出血した。

▶歯科衛生士概論

選択肢考察

- × a、× b、× d 医療有害事象(医療事故)、アクシデントである。
- c ヒヤリハット事例である。ヒヤリハット(インシデント)とは、診療の場で、医療従事者が「ヒヤリ」としたり、「ハッ」とした経験を有する事例のことで、実際には患者へ傷害を及ぼすことはなかったが、医療有害事象(医療事故)へ発展する可能性を有していた潜在的事例を指す。具体的には、ある医療行為が、患者へは実施されなかったが、仮に実施されたとすれば、何らかの傷害が予測された事象、患者へは実施されたが、結果として患者へ傷害を及ぼすには至らなかった不適切な事象を指す。なお、患者だけでなく医療従事者に、傷害の発生又はその可能性があったと考えられる事象も含まれる。

正解 c

DH 24:P766

【問題 33】 歯科衛生士法で規定しているのはどれか。1つ選べ。

- a 守秘義務
- b 絶対欠格事由
- c エックス線撮影
- d 業務記録の5年間の保存

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- a 歯科衛生士法では「正当な理由がなく、その業務上知り得た人の秘密を漏らしてはならない。歯科衛生士でなくなった後においても、同様とする」と規定されている。歯科衛生士法とは、歯科衛生士の業務、資格などを定めた法律である。歯科衛生士は、歯科医師の指導の下に歯科疾患の予防処置、歯科診療の補助、歯科保健指導などを行う。
- × b 相対欠格事由の規定はあるが、絶対欠格事由の規定は無い。
- × c 我が国では、放射線を人体に照射することができるのは医師・歯科医師・診療放射線技師のみと法律で定められている。歯科衛生士がレントゲン撮影を行うと法令違反となる。
- × d 歯科衛生士法では、歯科衛生士は、業務を行った場合にはその記録（業務記録）を作成して3年間これを保存すると規定されている。

正解 a

📖 DH24:P180

【問題 34】 低温プラズマ滅菌で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 過酸化水素を用いる。
- b 滅菌温度は約70℃である。
- c 器材は滅菌直後に使用できる。
- d エアレーションが必要である。

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- a、○ c、× d 低温かつ短時間（約75分）で滅菌でき、エアレーションの必要もないことから、滅菌直後の使用が可能である。低温プラズマ滅菌は、過酸化水素水をガス状にし、高周波エネルギーを与えることによって過酸化水素プラズマの状態をつくって滅菌する方法である。滅菌温度と湿度が低く、エアレーションを必要としないため、金属、非金属をはじめ、高圧蒸気滅菌できない器材を対象とする。
- × b 滅菌温度は低温（45℃）である。

正解 a, c

📖 DH24:P778

【問題 35】 60歳の女性。下顎の歯肉が腫れていることを主訴として来院した。1年前から内科を受診し、高血圧と不整脈に対する投薬を受けているという。初診時の口腔内写真（別冊午前 No. 3）を別に示す。

症状に影響していると考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 利尿薬
- b 抗凝固薬
- c 免疫抑制薬
- d カルシウム拮抗薬

▶ 臨床歯科総論

選択肢考察

- × a、× b 利尿薬、抗凝固薬により歯肉増殖が生じたとは考えられない。
- × c、○ d カルシウム拮抗薬、抗てんかん薬、免疫抑制薬は薬物性歯肉増殖症の原因となり得る。患者は高血圧症の既往がありカルシウム拮抗薬の服用が考えられるが、免疫抑制薬を服用しているとは考えられない。

No. 3



正解 d

📖 要点集 331:P65

【問題 36】 口腔癌に対する根治的体外照射の晩発性障害はどれか。1つ選べ。

- a 嘔吐
- b 下痢
- c 貧血
- d 多発う蝕

▶ 臨床歯科総論

選択肢考察

- × a 嘔吐は放射線宿酔の症状として現れ、早期に回復する。
- × b 照射野に消化器が含まれないため下痢は生じにくい。放射線宿酔の症状として現れる可能性はある。
- × c 貧血は骨髄障害の結果として現れ、早期に回復する。
- d 口腔癌に対する根治的体外照射は、局所組織に大線量の被曝が生じる。この場合の副作用は、早期障害として局所の炎症性変化、放射線宿酔、骨髄障害などを生じ、晩発性障害として口腔乾燥症、多発性う蝕、骨髄炎などを生じる。照射野に唾液腺が含まれると唾液分泌機能低下を起し口腔乾燥をきたす。徐々に回復することもあるが、慢性化することもあり、唾液の自浄作用の低下から多発性う蝕をおこす。

正解 d

📖 DH24:P753

[問題 37] 口内法エックス線検査で、デジタルエックス線画像システムと比較してフィルムを使用する方法が優れているのはどれか。1つ選べ。

- a 解像力が高い。
- b 画像処理ができる。
- c 被曝線量を低減できる。
- d 撮影時の画質を維持できる。

選択肢考察

- a デジタルエックス線画像は、フィルムを使用した場合に比べ、解像力は低い。
- × b デジタルエックス線画像はコンピュータ上に保管されるため画像処理ができるが、フィルムの画像処理は不可能である。
- × c、× d デジタルエックス線画像はセンサーの感度が高く、少ない線量で撮影ができる。デジタル画像としてデータ保管されるため、撮影時の画質を維持できる。

正解 a

DH24:P266

▶臨床歯科総論

[問題 38] 55歳の男性。下顎前歯部の歯肉出血を主訴として来院した。歯周基本治療後の再評価で、歯周外科治療を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 4 A、B)とエックス線画像(別冊午前 No. 4 C)を別に示す。再評価時の歯周組織検査結果の一部を表に示す。

舌側*	2	2	④	3	2	2	3	3	④	⑤	3	3
歯種	2			1			1			2		
頬側*	2	2	3	2	2	2	3	2	3	④	2	2
動揺度	0			0			0			1		

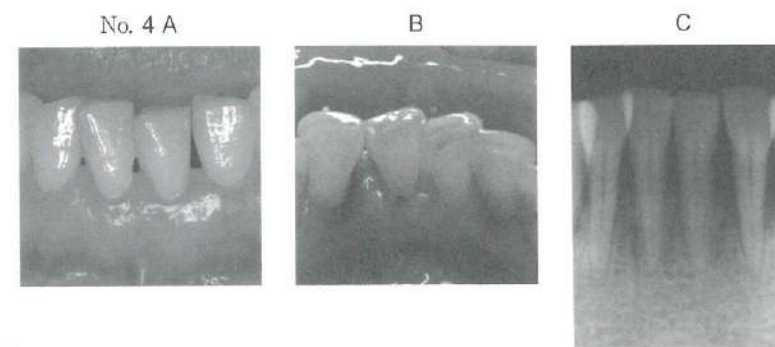
\*歯周ポケットの深さ(mm)

○印 プロービング時の出血

考えられる術式はどれか。1つ選べ。

- a 歯肉切除術
- b フラップ手術
- c 歯肉結合組織移植術
- d 歯周ポケット搔爬術

▶歯周治療学



選択肢考察

- × a 歯肉切除術は仮性ポケットが適応となる。
- b フラップ手術は、歯周基本治療後に4mm以上のポケットが残存し、根面への器具の挿入が困難な場合に適応となる。本症例に適切である。
- × c 歯肉結合組織移植術は歯周形成手術の一つで、付着歯肉の獲得や露出した根面の被覆を目的とした歯周外科手術である。
- × d 歯周ポケット搔爬術は浅い真性ポケットに適応される。

正解 b

DH24:P353

[問題 39] 20歳の女性。下顎左側第一大臼歯の深在性う蝕に対して暫間的間接覆髄法を行うことになった。処置直後の模式図(別冊午前 No. 5)を別に示す。

矢印はどれか。1つ選べ。

- a 象牙質橋
- b 第二象牙質
- c 第三象牙質
- d 軟化象牙質

選択肢考察

- × a 象牙質橋(デンティンブリッジ)は、直接覆髄法や断髄法によって露髄面直下に形成される硬組織様被蓋である。
- × b 第二象牙質は、外来からの刺激とは関係なく生理的に形成される象牙質である。
- × c 第三象牙質(修復象牙質)は、咬耗や摩耗、う蝕などの外来刺激に対する反応として、また、間接覆髄法や暫間的間接覆髄法によって歯髄側に形成される象牙質である。
- d 暫間的間接覆髄法とは、窩洞形成時に露髄をきたす恐れがある場合、軟化象牙質をすべて除去せず一層残したまま覆髄する方法である。処置後は一定期間、疼痛の有無などを経過観察する。エックス線画像で修復象牙質の形成を確認後、永久修復を行う。矢印は覆髄剤である水酸化カルシウム製剤の直下を示すため、除去せずに一層残した軟化象牙質である。

正解 d

▶ 歯内療法学

No. 5



■ 暫間修復物  
■ 水酸化カルシウム製剤

DH24:P313

[問題 40] 下顎左側第二大臼歯の治療中の写真(別冊午前 No. 6 A)と用いた器具の写真(別冊午前 No. 6 B)を別に示す。

Aの操作の目的はどれか。2つ選べ。

- a 根管口の探索
- b 天蓋の除去の確認
- c 根管充填の緊密度向上
- d 根管充填材への側方圧負荷

選択肢考察

- × a 根管口の探索にはスムーズブローチ、リーマーやファイルが用いられる。
- × b 天蓋の除去の確認には有鉤探針が用いられる。
- c、○ d 写真A、Bから側方加圧充填法で根管充填を行っていることがわかる。スプレッターの根管内挿入によって、根管充填材を側方に圧接し、緊密な根管充填が可能となる。

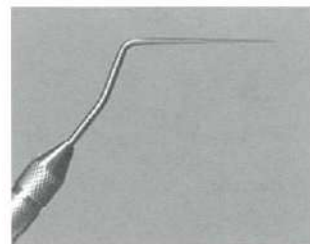
正解 c、d

▶ 歯内療法学

No. 6 A



B



[問題 41] ファーケーションプラスティで除去するのはどれか。1つ選べ。

- a 棘突起
- b 中心結節
- c エナメル突起
- d カラベリー結節

▶ 歯周治療学

選択肢考察

- × a、× b、× d 棘突起は前歯の基底結節にみられる突起である。中心結節は臼歯咬合面に出現する突起で、破折により歯髄炎を起こすことがある。カラベリー結節は上顎第一大臼歯の近心舌側咬頭にみられる歯冠の形態異常である。いずれもファーケーションプラスティで除去するものではない。
- c ファーケーションプラスティは根分岐部の歯質と骨の形態修正で、オドントプラスティ(歯の整形術)とオステオプラスティ(歯槽骨整形術)がある。エナメル突起はセメントエナメル境の歯頸線が根分岐部に向かって伸展した状態である。根分岐部の歯周組織改善のため、ファーケーションプラスティで除去する。

正解 c

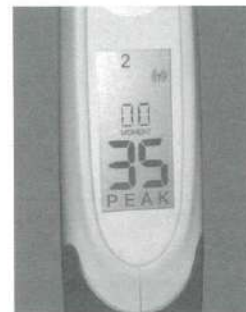
[問題 42] レーザーう蝕診断器の写真(別冊午前 No. 7 A)と口腔内で使用している写真(別冊午前 No. 7 B)を別に示す。

この機器の特徴はどれか。2つ選べ。

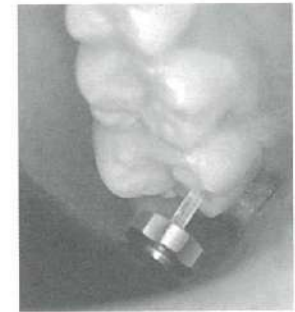
- a う蝕の色調を計測する。
- b 蛍光波強度を計測する。
- c 顕性う蝕の検出に有効である。
- d 歯質のインピーダンスを計測する。

▶ 保存修復学

No. 7 A



B



選択肢考察

- × a う蝕の色調を計測する機器はない。
- b、○ c 写真はレーザー蛍光強度測定装置を示す。励起波長620~650nmの赤色半導体レーザーを歯質に照射し、健全歯質とう蝕部における蛍光波長差を利用する。プローブから出たレーザーは、測定しにくい隣接面や小窩裂溝部のう蝕の歯面から約2mmの深度まで到達し数値化することで、う蝕を検出する。
- × d 歯質のインピーダンスの計測によってう蝕の診断を行うのはカリエスマーターである。

正解 b、c

DH24:P289

[問題 43] 16歳の男子。上顎左側第一大臼歯の痛みを訴えて来院した。1年前からう蝕に気づいていたが放置していたところ、1週間前から咀嚼時に疼痛を感じるようになったという。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 8 A)とエックス線画像(別冊午前 No. 8 B)を別に示す。

疑われるのはどれか。1つ選べ。

- a 歯根肉芽腫
- b 上行性歯髄炎
- c 急性化膿性歯髄炎
- d 慢性増殖性歯髄炎

▶歯内療法学

No. 8 A



B



選択肢考察

- × a 歯根肉芽腫は根尖性歯周炎に継続して発症する。
- × b 上行性歯髄炎は、歯周ポケット経由で根尖部から歯冠部方向へ歯髄炎が進展する。
- × c 急性化膿性歯髄炎は急性単純性歯髄炎の継発症で、自発痛や温熱痛、拍動痛などを呈する。
- d 慢性増殖性歯髄炎は生体反応が旺盛な若年者に多くみられるもので、歯髄炎が慢性化し、肉芽組織(歯髄ポリープ)が露髄面から増殖する。口腔内写真から、咬合面に肉芽組織の増生が認められる。

正解 d

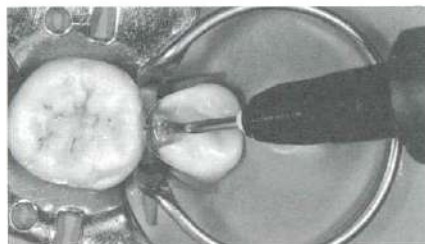
[問題 44] コンポジットレジン修復操作時の口腔内写真(別冊午前 No. 9)を別に示す。

このレジンの特徴はどれか。2つ選べ。

- a 粘稠性が低い。
- b 耐摩耗性を向上させる。
- c 窩洞へのぬれ性に優れる。
- d 修復象牙質形成を促進させる。

▶保存修復学

No. 9



選択肢考察

- a、○ c 写真が示すフロアブルコンポジットレジンとは、コンポジットレジンの中でも特に粘稠性が低く、小窩裂溝部などへの充填時の操作性が良い。流動性も高く、窩洞へのぬれ性に優れる。
- × b、× d フロアブルコンポジットレジンにはフィラー含有量が少ないため、耐摩耗性の向上にはつながらない。修復象牙質形成を促進する役割もない。

正解 a、c

DH 24:P 297

[問題 45] 58歳の男性。下顎右側臼歯部の歯肉の腫れを主訴として来院した。歯周基本治療後の再評価で 7| に深い歯周ポケットが残存したため、歯周外科手術を行うことになった。再評価時のエックス線画像(別冊午前 No. 10 A)、術直前の口腔内写真(別冊午前 No. 10 B)及び術中の口腔内写真(別冊午前 No. 10 C)を別に示す。再評価時の歯周組織検査結果の一部を表に示す。

頬	側*	⑥	⑧	③	③	⑥	3
歯	種	7		6			
舌	側*	⑥	⑥	③	③	⑥	③
根分岐部病変**		3度		3度			
動揺度***		2		1			

\*: 歯周ポケットの深さ(mm)

○印: プロービング時の出血

\*\* : Lindhe の分類

\*\*\* : Miller の判定基準

行った処置の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

7| 6|

- a ルートセパレーション ———— ヘミセクション
- b ヘミセクション ———— ルートセパレーション
- c ルートアンブレーション ———— ルートセパレーション
- d ヘミセクション ———— ファーケーションプラスチック

▶歯周治療学

No. 10 A



B



C



選択肢考察

- b 写真から 7| にヘミセクション、6| にルートセパレーションを行っている。ヘミセクションは下顎第一大臼歯において、保存不可能な根を根分岐部で分割し歯冠部とともに抜去し、保存可能な根は保存する方法である。ルートセパレーション(歯根分割)は主に下顎第一大臼歯において、根分岐部病変はあるが歯根は保存可能な症例に行う。

正解 b

DH 24:P 357

[問題 46] 85歳の男性。咀嚼時の下顎義歯床下粘膜の疼痛を主訴として来院した。検査の結果、上下顎全部床義歯を新製することになった。義歯製作過程で行われたある操作の写真(別冊午前 No.11)を別に示す。

この操作で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 半調節咬合器の顎路角調節に用いる。
- b フランクフルト平面を基準平面とする。
- c 顎関節と上顎の位置関係を咬合器上に再現する。
- d 頭蓋に対する下顎の位置を咬合器上に再現する。

▶ 歯科補綴学

No.11



選択肢考察

- × a 顎路調節は、フェイスボウトランスファーの後にチェックバイトを採得しないと行えない。
- b 写真のリファレンスポインターの先端は眼窩下点を指している。フェイスボウトランスファーは前方基準点として眼窩下点、鼻翼下縁などを用い、基準平面としてフランクフルト平面やカンベル平面を用いる。
- c、× d フェイスボウトランスファーは半調節性咬合器を使用する際、頭蓋あるいは顎関節に対する上顎の位置をフェイスボウで記録し、咬合器上に再現する操作である。フェイスボウは上顎歯列の位置を記録するバイトフォーク、前方基準点を指示するリファレンスポインター、および左右の後方基準点を示す顎頭指示桿(スタイラス)から構成される。

正解 b、c

[問題 47] 45歳の女性。上顎前歯の審美不良を主訴として来院した。検査の結果、支台歯はすべて根管治療が終了していた。オールセラミックブリッジを製作することになった。プロビジョナルレストレーション装着前後の口腔内写真(別冊午前 No.12 A、B)を別に示す。

この症例におけるプロビジョナルレストレーションの目的はどれか。2つ選べ。

- a 歯肉の排除
- b 歯髄の保護
- c 構音機能の回復
- d 最終補綴装置の色調指針

▶ 歯科補綴学

No.12 A



B



選択肢考察

- a、○ c 支台歯の歯頸部辺縁に歯肉が覆い被さらないように歯肉を排除する必要がある。プロビジョナルレストレーションは最終補綴装置を製作する前に、一定期間口腔内に装着する暫時的な補綴装置である。プロビジョナルレストレーションの口腔内における咬合・構音・清掃性・歯周組織・顎位への作用などを観察し、最終補綴装置を機能的・審美的に適切な形態とすべく調整する。
- × b 支台歯は根管治療が済んでおり写真から支台築造も終了しているため、歯髄の保護は関係ない。
- × d 最終補綴装置の形態指針は決められるが、色調指針はシェードガイドで決定する。

正解 a、c

DH 24:P392

[問題 48] オールセラミッククラウンがレジンジャケットクラウンよりも劣るのはどれか。1つ選べ。

- a 耐衝撃性
- b 耐吸水性
- c 耐摩耗性
- d 耐変色性

▶ 歯科補綴学

選択肢考察

- a 耐衝撃性はレジンジャケットクラウンが優れている。
- × b、× c、× d 耐吸水性、耐摩耗性、耐変色性は化学的に安定で硬い性質を有するオールセラミッククラウンが優れている。

正解 a

【問題 49】 先天性口腔顎顔面疾患に対して行った手術前後の顔貌の写真(別冊午前 No.13 A、B)を別に示す。

この手術より前に行われたのはどれか。1つ選べ。

- a 口蓋形成術
- b Hotz 床の装着
- c 顎裂部骨移植術
- d スピーチエイドの装着

▶口腔外科学

選択肢考察

- × a、○ b、× c 手術後の顔貌写真から、右側口唇裂の口唇形成術前後とわかる。口唇・口蓋裂の治療は、生後まもなく Hotz 床の装着、口唇形成術(生後3~4か月頃)、口蓋形成術(生後1歳6か月頃)、顎裂部骨移植術(8~10歳)を行う。その他の治療として、スピーチエイドの装着や咽頭弁移植術を行うこともある。
- × d 鼻咽腔閉鎖不全があり、構音訓練を用いても改善されない場合にスピーチエイドを装着する。

正解 b

DH 24:P.402

No.13 A



B



【問題 50】 28歳の女性。下顎前歯部の違和感を主訴として来院した。2か月前に気付いたが、痛みがないため放置していたところ、徐々に大きくなってきたという。現在妊娠20週であり、全身疾患はない。口腔内写真(別冊午前 No.14)を別に示す。

この疾患の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 出産まで経過観察を行う。
- b ウイルス性粘膜疾患である。
- c 自己免疫の異常がみられる。
- d 女性ホルモンの分泌が関係する。

▶口腔外科学

選択肢考察

- a、○ d 写真の腫瘍は妊娠性エプーリスと考えられる。エプーリスは歯肉に限局して発生する良性の腫瘍状病変である。妊娠性エプーリスは、発生初期には比較的急速な増大傾向を示すが、分娩後は発育を停止するか、縮小あるいは自然消失することが多い。女性ホルモンの変動が関与すると考えられている。出産までは口腔清掃指導、ブランクコントロールをしながら経過観察し、出産後も自然消失しない場合には切除する。
- × b、× c エプーリスはウイルス性粘膜疾患ではない。自己免疫の異常とも関係ない。

正解 a、d

No.14



【問題 51】 54歳の女性。舌の腫脹を主訴として来院した。幼少期から気付いていたが、機能障害や疼痛がないため放置していたという。弾性軟である。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.15 A)と検査時の写真(別冊午前 No.15 B)を別に示す。

考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 血管腫
- b 黒毛舌
- c 舌がん
- d 正中菱形舌炎

▶口腔外科学

選択肢考察

- a 写真 A が示す舌背に生じた無痛性で弾性軟の腫瘍が、写真 B では圧迫により退色しており、血管腫と考えられる。血管腫は血管組織の増殖を特徴とする良性腫瘍である。
- × b 黒毛舌は舌背中央部が黒色または褐色を呈する。抗菌薬や副腎皮質ステロイド薬の長期使用による菌交代現象に関連するとされる。
- × c 舌がんは弾性軟ではなく硬結を触知し、疼痛も生じる。
- × d 正中菱形舌炎は舌背部の正中に楕円形または菱形の赤色斑を呈する。

正解 a

DH 24:P.409

No.15 A



B



【問題 52】 42歳の男性。他院で下顎右側第二小臼歯歯根破折のため、保存不可能と判断され、抜歯することになった。当該歯の抜去操作時に用いる器具の写真(別冊午前 No.16)を別に示す。

この器具を用いた操作で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 歯根分離を行う。
- b 歯根膜の断裂を行う。
- c 患歯を完全に抜去する。
- d 肉芽組織の搔爬を行う。

▶口腔外科学

選択肢考察

- × a 歯根分離の際にはターピンなどを用いるが、設問の患歯は下顎第二小臼歯であるため、歯根分離の必要はない。
- b 写真は挺子である。挺子の主な力学的作用は、① くさび作用、② てこ作用、③ 回転作用であり、挺子では歯根膜の断裂と患歯の脱臼のみを行う。患歯を抜去する際には鉗子を用いる。挺子により歯根膜の断裂、患歯の脱臼を行う。なお、歯頸部環状靭帯の断裂には歯科用探針やメスを用いる。
- × c 抜歯窩または口腔内から患歯を完全に抜去する際には鉗子を用いる。
- × d 肉芽組織の搔爬は鋭匙で行う。

正解 b

DH24:P.831

【問題 53】 口腔内写真(別冊午前 No.17)を別に示す。

両側中切歯の状態を表すのはどれか。1つ選べ。

- a 移転
- b 正中離開
- c 舌側転位
- d 対称捻転

▶矯正歯科学

選択肢考察

- × a 移転とは、歯の萌出位置が隣同士、あるいはもっと離れて入れ替わっている状態である。
- × b 正中離開とは、1|1 にできる空隙をいう。
- × c 舌側転位とは、歯が歯列弓内の内側に位置を変えている状態である。
- d 写真の両側中切歯は相互に逆方向に捻転しており、**対称捻転(翼状捻転)**の状態である。口腔習癖や上唇小帯付着異常、ディスクレパンシーなど種々の原因によって生じる。

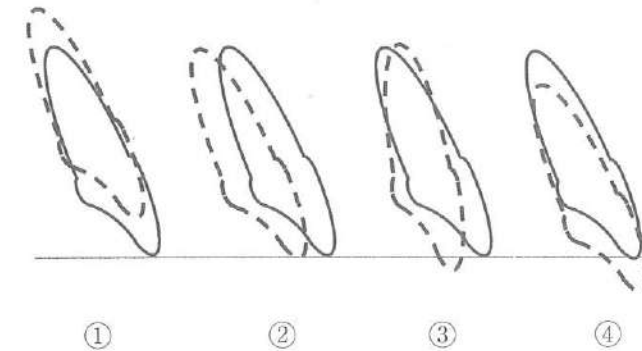
正解 d

DH24:P.430

No.16



【問題 54】 マルチブラケット装置を用いた矯正治療における歯の移動を図に示す。



実践：移動前 破線：移動後

歯体移動はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶矯正歯科学

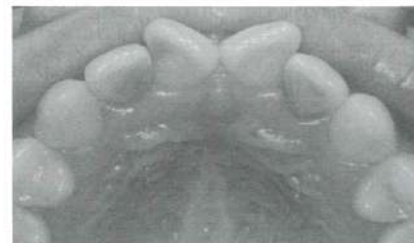
選択肢考察

- × a 長軸に沿って根尖方向へ押し込まれる移動のため**圧下**である。
- b 歯冠と歯根が同じ方向へ平行移動しているため**歯体移動**である。矯正力とは、不正な位置にある歯や顎を適切な位置に移動し、十分に機能させるために加える加重のことをいう。さまざまな移動様式が存在するが、基本的な移動様式は、圧下、挺出、傾斜、歯体、捻転、トルクである。
- × c 歯根の根尖側1/3を回転中心に根尖は歯冠と反対方向へ移動しているため**傾斜移動**である。
- × d 長軸に沿って歯冠方向へ歯槽から引き抜かれる方向への移動であるため**挺出**である。

正解 b

DH24:P.439

No.17



〔問題 55〕 矯正装置装着時の口腔内写真(別冊午前 No.18)を別に示す。

この装置がもつ矯正力で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 器械的
- b 機能的
- c 持続的
- d 断続的

選択肢考察

- a、d 写真の矯正装置は上顎に装着した、第一大臼歯の維持バンド、正中部の拡大スクリー、連結ワイヤーで構成される**急速拡大装置**である。急速拡大装置は固定式の器械的矯正装置で、断続的に加わる顎整形力を利用して、正中口蓋縫合および上顎歯槽底部を側方に拡大する。矯正装置には、装置がもつ器械的な矯正力による器械的矯正装置と、筋の機能力を利用する機能的矯正装置がある。また、矯正力の種類は間欠的、断続的、持続的と分けられる。間欠的矯正力は使用中に矯正力がかかるときとかからないときがあるもので、**アクチバトル、ヘッドギア、咬合斜面板**などがある。断続的矯正力は次回調節するまでに矯正力が減衰するもので、**急速拡大装置**がある。持続的矯正力は次回調節するまで矯正力が保持されるもので、**マルチブラケット装置、コイルスプリング、舌側弧線装置**がある。

正解 a、d

DH24:P445

〔問題 56〕 4歳の女児。3か月前に外傷により上顎左側乳中切歯が脱落し審美不良を訴え来院した。

保険装置を装着することになった。創傷治癒後の口腔内写真(別冊午前 No.19)を別に示す。

考えられる装置はどれか。1つ選べ。

- a 可撤保険装置
- b クラウンループ
- c ディスタルシュー
- d ナンスのホールディングアーチ

選択肢考察

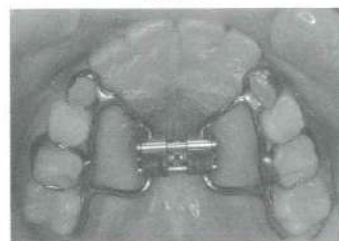
- a 4歳であり後続永久歯の萌出までには数年を要する。審美不良を改善できる**可撤保険装置**が適切である。
- × b **クラウンループ**は片側の第一乳臼歯1歯欠損に対し、第二乳臼歯を支台歯として用いる。
- × c **ディスタルシュー**は片側の第二乳臼歯の早期喪失に伴う、未萌出の第一大臼歯の近心移動の防止に用いる。
- × d **ナンスのホールディングアーチ**は、ヘルマンの咬合発育段階のⅢA～ⅢCにおいて左右第一大臼歯にバンドの装着が可能な、上顎乳臼歯の早期喪失症例に用いる。リーウェイススペースの確保や歯列弓周長の保持に適する。

正解 a

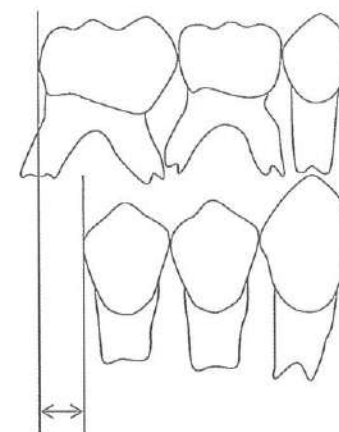
DH24:P474

▶矯正歯科学

No.18



〔問題 57〕 乳歯側方歯群と後継永久歯の関係の模式図を示す。



矢印が示すのはどれか。1つ選べ。

- a 発育空隙
- b 霊長空隙
- c ターミナルプレーン
- d リーウェイススペース

選択肢考察

- × a **発育空隙**は乳歯列期にみられる霊長空隙以外の歯間空隙である。
- × b **霊長空隙**は上顎では乳犬歯の近心、下顎では乳犬歯の遠心にみられる。
- × c **ターミナルプレーン**は上下顎の第二乳臼歯遠心面の近遠心的位置関係である。
- d 矢印が示すのは**リーウェイススペース**で、乳歯側方歯群とその後継永久歯の歯冠近遠心幅径の総和の差  $[(C + D + E) - (3 + 4 + 5)]$  を指す。上顎の片側で約1mm、下顎の片側で約3mm存在する。リーウェイススペースは第一大臼歯や永久歯側方歯群の咬合、前歯部の歯軸の安定に関与すると考えられている。

正解 d

DH24:P461

▶小児歯科学

▶小児歯科学

No.19



【問題 58】 6歳の女児。歯の形を気にして来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.20 A)とエックス線画像(別冊午前 No.20 B)を別に示す。

矢印で示す形態異常はどれか。1つ選べ。

- a 歯内歯
- b 癒合歯
- c 癒着歯
- d 矮小歯

選択肢考察

- × a 歯内歯は歯冠の一部が歯髄腔内に陥入した形態異常である。
- b 写真はC Bの癒合歯(融合歯)である。癒合歯は2つの歯胚が融合したもので歯髄を共有する。下顎側歯部に好発する。
- × c 癒着歯は歯根形成後に2つの歯がセメント質のみで結合したものである。
- × d 大きさが平均より小さい歯を矮小歯という。上顎側切歯、第三大臼歯、過剰歯が矮小歯であることが多い。

正解 b

DH 24:P78

【問題 59】 オーラルジスキネジアで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 睡眠時に活発化する。
- b 口腔に出現する不随意運動である。
- c 抗精神病薬の投与で出現しやすい。
- d 舌や口唇の運動速度や巧緻性を評価する。

選択肢考察

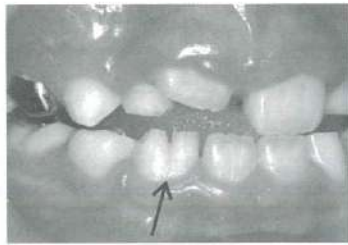
- × a オーラルジスキネジアは睡眠時には消失する。
- b ジスキネジアは脳基底核の障害で出現する不随意運動の総称である。口腔に発現するものをオーラルジスキネジアといい、口をもぐもぐさせたり、下を出し左右に動かしたり、口を突き出したたり、歯を食いしばったりする。口腔周囲筋の不随意運動のため、構音や義歯の安定に影響を与える。
- c オーラルジスキネジアの発症要因は2つに大別される。1つは抗精神病薬の服用による副作用、もう1つは抗パーキンソン病薬などのドーパミン関連薬の服用による副作用である。
- × d 舌や口唇の運動速度や巧緻性を評価するのはオーラルディアドコキネシスである。

正解 b, c

DH 24:P479

▶小児歯科学

No.20 A



B



▶高齢者・障害者歯科学

No.21



【問題 60】 15歳の男子。臼歯部の異常を主訴として来院した。脳性麻痺による摂食嚥下障害のため、経管栄養であるという。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.21)を別に示す。

適切と考えられる対応はどれか。1つ選べ。

- a 経過観察
- b 歯肉切除術
- c スケーリング
- d フッ化物塗布

選択肢考察

- × a 臼歯部咬合面に歯石沈着がみられるため、歯石を除去する必要がある。
- × b 歯肉の増殖傾向が認められるが、口腔清掃によって改善の可能性もあるため、現時点では歯肉切除の必要性は低い。
- c 主訴である咬合面の異常の原因である歯石を、スケーリングによって取り除くのが適切な対応である。
- × d 経管栄養のためう蝕リスクは低いといえる。フッ化物塗布では主訴に対応できない。

正解 c

【問題 61】 障害によって嘔声を生じるのはどれか。1つ選べ。

- a 下顎神経
- b 顔面神経
- c 反回神経
- d 舌下神経

▶高齢者・障害者歯科学

選択肢考察

- × a 三叉神経は脳神経中最大の神経で、眼神経、上顎神経、下顎神経の3枝に分かれる。いずれも顎顔面の知覚を支配し、下顎神経のみ咀嚼筋や舌骨上筋群の運動にも関与する。声帯の運動には関与しない。
- × b 顔面神経は、運動神経である狭義の顔面神経と中間神経が合した神経で、涙腺の分泌、聴覚、味覚、舌下腺・顎下腺の分泌、顔面表情筋の運動などに関与する。声帯の運動には関与しない。
- c 嘔声は、いわゆる「かすれ声」のことである。声帯を支配する運動神経麻痺や障害、声帯の器質的な変化などの場合に、声帯の運動が障害され振動が乱れることで生じる。反回神経は迷走神経の枝で、続いて下喉頭神経となり声帯の運動を支配する。反回神経が障害を受けると声帯の運動が障害されるため嘔声となる。
- × d 舌下神経は舌の運動を司る純運動神経である。舌下神経が障害を受けると、呂律が回らないなど構音障害が起こるが、声帯の運動には関与しないため嘔声が生じることはない。

正解 c

要点集 331:P3

【問題 62】 70歳の女性。上顎歯肉癌切除後の口腔内写真(別冊午前 No.22 A)とリハビリテーション用装置の写真(別冊午前 No.22 B)を別に示す。

装着後に改善が期待できるのはどれか。2つ選べ。

- a 開鼻声
- b 口唇閉鎖
- c 上唇の陥凹
- d 鼻咽腔閉鎖

No.22 A



B



▶高齢者・障害者歯科

## 選択肢考察

- a 口腔から鼻腔に空気が抜けることが防げるので、開鼻声の改善になる。
- × b 口唇閉鎖は口輪筋に関係する事項で、顎義歯装着により改善されるものではない。
- c リップサポートが獲得され、上唇の陥凹が改善する。
- × d 鼻咽腔閉鎖は軟口蓋の挙上によりなされる。本症例では、軟口蓋の欠損はないので関係ない。

正解 a、c

【問題 63】 綿球塗布法によるプラークの染色で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 歯面に強く当てる。
- b 染色前の洗口は控える。
- c 染色後の洗口は1~2回程度にする。
- d 染色前に口唇にワセリンを塗布する。

▶歯科予防処置

## 選択肢考察

- × a 綿球を強く擦るとプラークが取れてしまうため、軽く歯面を押さえるように塗布する。
- × b 染色前に洗口すると、食物残渣や粘性の唾液が除去され、染色性が向上するため、染色前に洗口するとよい。
- c 染色後の洗口は1~2回程度にする。
- d 口唇の染色を防ぐ目的で、あらかじめワセリンを口唇に塗布しておく。

正解 c、d

【問題 64】 非糖質系甘味料どれか。2つ選べ。

- a サッカリン
- b キシリトール
- c パラチノース
- d アスパルテーム

▶歯科予防処置

## 選択肢考察

- a サッカリンは化学合成系の非糖質系甘味料である。
- × b キシリトールは糖アルコールである。
- × c パラチノースやカップリングシュガーは単糖が2(3)~10個結合したオリゴ糖である。
- d アスパルテームはアミノ酸系の非糖質系甘味料である。

正解 a、d

DH24:P695

【問題 65】 35歳の男性。歯肉の着色を主訴として来院した。痛みなどの症状はないという。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.23)を別に示す。

主訴の原因として考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 喫煙
- b 薬剤
- c 歯科用金属
- d 歯周病原細菌

▶歯科予防処置

## 選択肢考察

- a 口腔内写真から歯肉に色素沈着が認められ、喫煙習慣による歯肉のメラニン色素沈着と考えられる。
- × b 降圧剤(ニフェジピン)、抗てんかん薬(フェニトイン)や免疫抑制剤(シクロスポリン)など薬剤の長期服用により歯肉増殖症がみられることがあるが、設問のような色素沈着は考えられない。
- × c 修復物、補綴装置に用いられる歯科用金属の影響から歯肉に色素沈着がみられることがあるが、設問の口腔内写真から全顎的な色素沈着がみられるため考えられない。
- × d 歯周病原細菌の中には黒色色素産生菌が含まれるが、設問のような色素沈着は考えられない。

正解 a

No.23



[問題 66] 歯周組織検査中の口腔内写真(別冊午前 No.24 A、B)とエックス線画像(別冊午前 No.24 C)を別に示す。ファーケーションプローブは頬舌的に貫通した。根分岐部病変の分類で適切なものはどれか。1つ選べ。

- a Glickman 1 級
- b Glickman 2 級
- c Lindhe & Nyman 2 度
- d Lindhe & Nyman 3 度

▶ 歯科予防処置



## 選択肢考察

- d ファーケーションプローブが頬舌的に貫通していることから、Lindhe & Nyman の水平的分類 3 度となる。

正解 d

DH24:P600

[問題 67] デンチャープラーク中で多く検出されるのはどれか。1つ選べ。

- a *Aggregatibacter actinomycetemcomitans*
- b *Candida albicans*
- c *Mycobacterium tuberculosis*
- d *Prevotella intermedia*

▶ 歯科予防処置

## 選択肢考察

- × a *Aggregatibacter actinomycetemcomitans* は侵襲性歯周炎で高頻度に検出される。
- b 義歯に付着したプラークをデンチャープラークという。床用レジンは粗造になりやすく、プラークが付着しやすい環境である。デンチャープラークには *Candida albicans* が多く検出され、カンジダ症や口内炎の原因となる。
- × c *Mycobacterium tuberculosis* は結核菌で、結核感染者でない限りデンチャープラークから検出されることはない。
- × d は *Prevotella intermedia* 妊娠性歯肉炎で高頻度に検出される。

正解 b

要点集 331:P40

[問題 68] プラークリテンションファクターはどれか。2つ選べ。

- a 喫煙
- b 食習慣
- c 根分岐部病変
- d 不適合修復物

▶ 歯科予防処置

## 選択肢考察

- × a、× b 喫煙、食習慣は歯周病のリスクファクターにおいて環境因子である。
- c、○ d 根分岐部病変、不適合修復物はプラークリテンションファクターである。歯周病のリスクファクターは細菌因子、宿主因子、環境因子に分類され、宿主因子はさらに局所性修飾因子(プラークリテンションファクター、外傷性修飾因子)と全身性修飾因子に分けられる。プラークリテンションファクターには歯石、歯列不正、不適合修復物・補綴装置、歯の形態異常、根分岐部病変、口腔前庭の異常、食片圧入、口呼吸などがあり、外傷性修飾因子には外傷性咬合、ブラキシズムなどが含まれる。

正解 c、d

DH24:P332

[問題 69] 超音波スケーラーで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 側方圧は 40mg で操作する。
- b 感染予防対策が必要である。
- c キャビテーション効果が期待できる。
- d 刃部のフェイスと歯面の角度は 70° とする。

▶ 歯科予防処置

## 選択肢考察

- × a インサートチップの歯面への側方圧はフェザータッチ(40~80g)で操作する。
- b 患者由来の感染性微生物がエアロゾルに含まれて空气中に浮遊するため、感染予防対策が必要である。
- c 超音波振動により生じた気泡が弾ける際の衝撃波(キャビテーション)を利用して効率的に細菌を除去、洗浄する。
- × d インサートチップの使用角度は歯面に対して 15° 前後である。刃部のフェイスと歯面の角度は 70° とするのは手用スケーラーである。

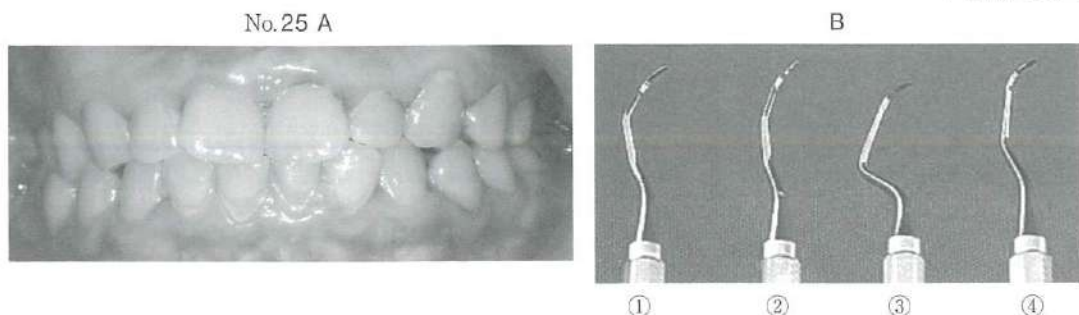
正解 b、c

[問題 70] 40歳の女性。歯肉からの出血を主訴として来院した。歯周組織検査の結果、プロービング深さは全顎的に3~4mmであった。上顎左側前歯部を歯周プローブで精査したところ歯肉縁下に粗造面を触知した。プラークコントロールの確立後、歯科医師の指示によりグレーシー型キュレットを用いてスクレーリングを行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.25 A)と器具の写真(別冊午前 No.25 B)を別に示す。

上顎左側前歯部の治療に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科予防処置



選択肢考察

- × a ①は第3シャンクまでである。グレーシー型キュレット No.13/14 で大白歯部遠心面用である。
- × b ②は第3シャンクまでである。グレーシー型キュレット No.11/12 で大白歯部近心面用である。
- × c ③は第1 シャンクと第2 シャンクの角度が強く、グレーシー型キュレット No.9/10 で大白歯部頬・舌側面用である。
- d ④はグレーシー型キュレットの前歯部用スクレーラーである。上顎前歯部の歯肉縁下歯石の除去にはグレーシー型キュレットの No.1/2、3/4 を使用する。

正解 d

DH24:P614

[問題 71] 上顎前歯部唇側面のスクレーリングでバックポジションが適切な部位はどれか。2つ選べ。

- a 3~1| 近心
- b 3~1| 遠心
- c |1~3 近心
- d |1~3 遠心

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a、d 3~1| 近心および |1~3 遠心はバックポジションにて行う。

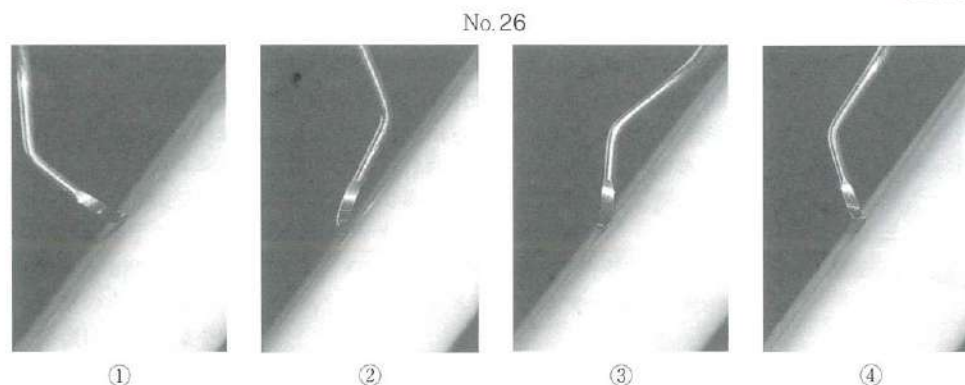
正解 a、d

[問題 72] シャープニングにおけるグレーシー型キュレットと砥石との位置関係の写真(別冊午前 No.26)を別に示す。

適切な操作角度はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科予防処置



選択肢考察

- d ④は刃部内面と砥石のなす角度がおよそ100~110度になっており、適切である。キュレット型スクレーラーのシャープニングでは、砥石と刃部両面とのなす角度が100~110度になるよう砥石を合わせる。

正解 d

[問題 73] 器具の写真(別冊午前 No.27)を別に示す。

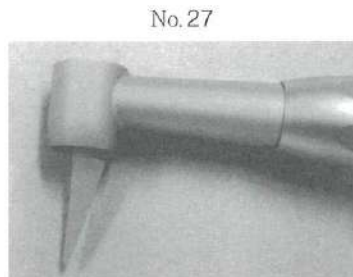
使用目的はどれか。1つ選べ。

- a 隣接面歯石の除去
- b 歯頸部充填物の研磨
- c 隣接面プラークの除去
- d 小窩裂溝部プラークの除去

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a エバチップはプラスチック製であり、歯石の除去には適さない。
- × b 歯頸部充填物の研磨には、各種ポイントや円盤状の研磨用器具を使用する。
- c 写真はプロフィンハンドピースに装着したエバチップである。隣接面の機械的清掃に使用する。エバチップの断面は三角形になっており、隣接面プラークの除去に適している。
- × d 小窩裂溝部のプラークの除去にはロビンソンブラシなどの研磨用器具を使用する。



正解 c

[問題 74] 小児のう蝕予防で歯面塗布法が洗口法よりも優れているのはどれか。2つ選べ。

- a 乳児に適用できる。
- b う蝕予防効果が高い。
- c 使用法が簡便である。
- d セルフケアに適している。

▶歯科予防処置

選択肢考察

- a フッ化物洗口は、ブクブクうがいができる年齢から可能になるため乳児には適応できない。フッ化物歯面塗布は歯の萌出直後の乳児から行える。
- b、× d フッ化物歯面塗布とフッ化物洗口はともにフッ化物の局所的応用法である。フッ化物歯面塗布はプロフェッショナルケアで、萌出直後の歯に行うと最もう蝕予防効果が高い。フッ化物洗口は幼児(3歳以上)や学童を対象とした家庭で行うセルフケア、もしくは学校で集団応用されるパブリックケアである。
- × c 洗口法の方が使用方法は簡便である。

正解 a、b

[問題 75] 乳酸菌数を測定するのはどれか。1つ選べ。

- a Dentocult<sup>®</sup>-LB
- b Dentocult<sup>®</sup>-SM
- c Dentobuff<sup>®</sup>-Strip
- d Snyder test

▶歯科予防処置

選択肢考察

- a Dentocult<sup>®</sup>-LBは唾液を検体として用い、唾液中の乳酸菌数を測定する。
- × b Dentocult<sup>®</sup>-SMは唾液を検体として用い、唾液中のミュータンスレンサ球菌数を測定する。
- × c Dentobuff<sup>®</sup>-Stripは唾液を検体として用い、唾液緩衝能を測定する。
- × d Snyder testは唾液を検体として用い、唾液中の乳酸菌の酸産生能を測定する。

正解 a

📖 DH 24:P 636

[問題 76] 8歳の男児。上顎前歯の変色を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.28)を別に示す。

適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a ブラッシング指導
- b フッ化ジアンミン銀溶液塗布
- c フッ化物溶液による洗口指導
- d グラスアイオノマーセメント修復

▶歯科予防処置

No.28



- a 写真から歯頸部の白濁がみられるが、実質欠損は明らかではない。まずはブラッシング指導を行い、歯頸部の菌垢を除去する必要がある。
- × b フッ化ジアンミン銀は乳歯う蝕の進行抑制や知覚過敏症に使用される。フッ化ジアンミン銀は無色であるが、歯面や器具、衣類などに付着すると、時間の経過とともに黒変する。
- c フッ化物溶液による洗口はエナメル質表層の再石灰化に有効である。
- × d 歯質の実質欠損はみられないため、グラスアイオノマーセメント修復は適切ではない。

正解 a、c

[問題 77] 体重27kgの男児。0.2% NaF 洗口液を誤って飲用した場合、フッ化物の急性中毒が生じる量はどれか。1つ選べ。フッ化物の急性中毒量は体重1kgあたり2mgとする。

- a 2.7mL
- b 6mL
- c 27mL
- d 60mL

▶歯科予防処置

選択肢考察

- d フッ化物洗口液のフッ化物濃度は900ppmであることから、洗口液1mL中には0.9mgのフッ化物が含まれている。  
体重27kgの急性中毒量は  $27(\text{kg}) \times 2(\text{mg/kg}) = 54\text{mg}$  となる。  
よって、 $54 \div 0.9 = 60\text{mL}$  が最小中毒量である。

正解 d

📖 DH 24:P 660

【問題 78】 う蝕リスクが高い1歳6か月児の保護者への口腔保健指導で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 歯間ブラシを併用する。
- b フッ化物洗口を勧める。
- c 歯磨剤は豆粒大を用いる。
- d フッ化物歯面塗布を勧める。

▶ 歯科保健指導

## 選択肢考察

- × a 歯間ブラシは歯肉退縮が認められる成人などに適応し、乳歯列期の口腔清掃には用いない。
- × b 1歳6か月児では十分に吐き出すことができないため、フッ化物洗口は適さない。
- × c 1歳6か月児ではブラッシング後に十分に吐き出すことができないため、歯磨剤は使用しないか、米粒大程度の使用に留める。
- d フッ化物歯面塗布は、歯が萌出している年齢であれば用いることができる。1歳6か月児は、まだ口腔清掃に関する十分なコミュニケーションをとることができないため、保護者に対する指導が重要になる。

正解 d

【問題 79】 動機づけ面接を進める際の基本的なスキルに当てはまらないのはどれか。1つ選べ。

- a 是認
- b 要約
- c 聞き返し
- d 閉ざされた質問

▶ 歯科保健指導

## 選択肢考察

- a、○ b、○ c 動機づけ面接を進める際の4つの基本的なスキル(OARS)として、自由に答えられるような開かれた質問(O: asking open question)、評価や否定をせずに肯定的に受け止める是認(A: affirming)、聞き返し(R: reflecting)、要約(S: summarizing)を用いる。
- × d はい/いいえで回答できる質問形式を閉ざされた質問(asking closed question)という。

正解 d

【問題 80】 現病歴の説明で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 具体的な来院動機
- b 過去における健康状態
- c 家族及び近親者の健康状態
- d 発症から現時点までの経過

▶ 歯科保健指導

## 選択肢考察

- × a 具体的な来院動機は主訴である。
- × b 過去における健康状態は既往歴である。
- × c 家族及び近親者の健康状態は家族歴である。
- d 現病歴とは主訴に関連して、症状の始まりから現時点までの経過についての情報である。

正解 d

【問題 81】 20歳の男子。口臭を主訴として来院した。O'LearyのPCRは40%で、軽度の歯肉炎と診断された。歯科医師より保健指導を行うように指示を受け、ブラッシング指導とともに洗口剤の使用法の指導を行なった。

正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 50mL程度を口に含む。
- b ブラッシング前に使用する。
- c 使用後は水ですすぐ必要はない。
- d 口腔前庭に1分程度ためて使用する。

▶ 歯科保健指導

## 選択肢考察

- × a 10~20mL程度口に含む。
- × b 歯磨剤を用いてブラッシングをした後に洗口剤を使用すると効果的である。
- c 洗口剤使用後に水で含嗽する必要はない。
- × d 20~30秒間洗口する。

正解 c

【問題 82】 55歳の男性。定期検診のため来院した。上顎右側ブリッジ部にプラークの付着が認められたため、歯科医師から口腔清掃指導を行うように指示を受けた。口腔内写真(別冊午前 No.29 A、B)を別に示す。

矢印で示す部位の清掃に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a 粘膜ブラシ
- b 歯間ブラシ
- c タフトブラシ
- d スポンジブラシ

▶ 歯科保健指導

## 選択肢考察

- × a 粘膜ブラシは歯肉の炎症部位や口蓋、頬粘膜、顎堤、舌など口腔粘膜全体の清掃に使用する。
- b、○ c 歯間ブラシ、タフトブラシは矢印で示すブリッジのボウテック連結部の清掃に使用する。
- × d スポンジブラシは口腔粘膜の清掃に使用する。日常生活自立度の低下や疾患などにより歯ブラシでの口腔清掃が困難な場合、周術期の口腔清掃管理などに用いられる。

正解 b、c

No.29 A



B

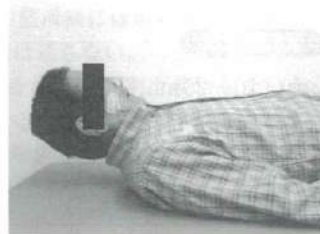


[問題 83] 摂食嚥下障害者に対する機能訓練の写真(別冊午前 No.30)を別に示す。この訓練の目的はどれか。1つ選べ。

- a 舌筋の刺激
- b 嚥下反射の促進
- c 喉頭挙上の強化
- d 口唇閉鎖の強化

▶ 歯科保健指導

No.30



選択肢考察

- × a 舌筋を刺激し、筋力の獲得、維持・回復、可動域の拡大、運動コントロールの改善を図ることを目的とするのは舌訓練である。
- × b 嚥下反射の促進を目的とする訓練には嚥下反射促進手技やアイスマッサージがある。
- c 写真から仰臥位で頭部を挙上しており、シャキア法(頭部挙上訓練)による間接訓練を行っていると思われる。シャキア法は、舌骨上筋群など喉頭挙上に関わる筋の筋力強化を行い、喉頭の前上方運動を改善して食道入口部の開大を図る訓練である。喉頭挙上を改善する訓練として、開口訓練、メンデルソン手技、頭部挙上訓練がある。
- × d 口唇閉鎖の強化を目的とする訓練は口唇閉鎖訓練である。

正解 c

DH24:P554

[問題 84] 90歳の男性。脳梗塞により右片麻痺があり摂食・嚥下障害によって経口摂取を禁止されているという。経口摂取の再開にあたり、直接訓練を行うことになった。

適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 仰臥位にする。
- b 横向き嚥下とする。
- c 箸を使って訓練する。
- d 水分にとろみをつける。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 仰臥位では直接訓練時に誤嚥の危険性があり行ってはならない。
- b 右片麻痺があるため、麻痺のある側(右側)に首を傾げることで左側の喉が広がる。その結果、食物が通過しやすくなる。
- × c 箸ではなく口唇で取り込みやすいようなスプーンを用いることが望ましい。
- d 水分にとろみをつけることで誤嚥の防止に有効となる。

正解 b、d

[問題 85] 食事バランスガイド(厚生労働省、農林水産省)の副菜に分類されるのはどれか。1つ選べ。

- a 肉
- b 豆腐
- c 野菜
- d パン

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

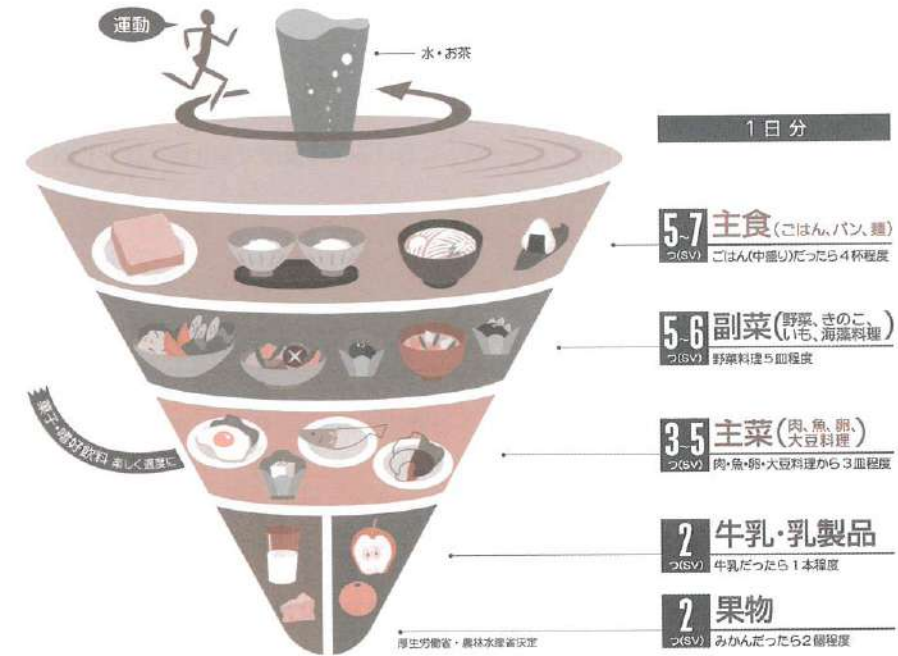
- × a、× b 肉、豆腐は主菜に分類される。
- c 野菜は副菜に分類される。
- × d パンは主食に分類される。

正解 c

DH24:P714

要点

◎ 食事バランスガイド



【問題 86】 25歳の女性。歯科検診を希望して来院した。歯科医師から口腔衛生指導を行うよう指示を受けた。歯垢染色後の口腔内写真(別冊午前 No.31)を別に示す。適切な清掃器具はどれか。1つ選べ。

- a ICUブラシ
- b 歯間ブラシ
- c スーパーフロス
- d デンタルフロス

▶ 歯科保健指導

## 選択肢考察

- × a ICUブラシは、挿管中や開口困難な患者に適した補助的清掃器具である。
- × b 口腔内写真から、歯間ブラシを挿入するような部位はない。
- × c スーパーフロスはポンティック基底面の清掃に用いる。
- d 歯間隣接面に染色されたプラークがみられるため、ブラッシング後のデンタルフロスの使用が効果的である。

正解 d

No.31



【問題 87】 プリシード・プロシードモデル(ミドリモデル)における第4段階で強化因子はどれか。1つ選べ。

- a 場所
- b 知識
- c 健康観
- d 行動後の効果の実感

▶ 歯科保健指導

## 選択肢考察

- × a 場所や健康行動のスキルは**実現**因子である。
- × b、× c プリシード・プロシードモデル(ミドリモデル)における第4段階(教育・組織診断)では、目標としたライフスタイルと環境要因を改善するためにはどのような条件を満たせばよいのかを**準備**因子、**強化**因子、**実現**因子に分けて検討する。具体的には、本人に知っておいてほしい知識、周りの人が協力すべきこと、提供すべき保健サービスや受け皿の整備、整備すべき環境や制度などである。行動を起こす前の知識や態度、健康観は**準備**因子である。
- d 行動後の効果の実感は**強化**因子である。

正解 d

DH 24:P746

【問題 88】 75歳の女性。開口時に口角が痛むという。開口時の写真(別冊午前 No.32 A)と閉口時の写真(別冊午前 No.32 B)を別に示す。

- 保健指導の内容で適切なものはどれか。2つ選べ。
- a 口の中は清潔に保ってください。
  - b 痛む場所を舐めないようにしてください。
  - c なるべくしゃべらないようにしてください。
  - d カルシウムを多く摂るようにしてください。

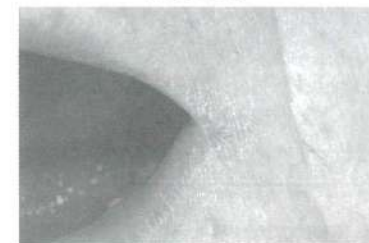
▶ 歯科保健指導

## 選択肢考察

- a 口角炎発症の原因の一つに口腔内の清掃不良があるため、口腔清掃指導は重要である。口角炎は義歯の清掃不良や口腔内軟組織の清掃不良などにより生ずる。
- b 口角炎は唾液による湿潤が原因となる場合もあり、炎症部位を舐めないように指導する。
- × c 顎運動の抑制は口角部の萎縮の原因となり、開口時に再び裂傷をきたす可能性がある。
- × d 口角炎には**ビタミン B<sub>2</sub>** 摂取が有効である。

正解 a、b

No.32 A



B



【問題 89】 n-3系多価不飽和脂肪酸はどれか。2つ選べ。

- a グルタミン酸
- b アスコルビン酸
- c ドコサヘキサエン酸
- d エイコサペンタエン酸

▶ 歯科保健指導

## 選択肢考察

- × a グルタミン酸はアミノ酸である。
- × b アスコルビン酸はビタミンCである。
- c、○ d 脂肪の構成要素である脂肪酸は、分子の構造的な違いから飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸に分類される。そのうち植物や魚の脂に多く含まれるものを不飽和脂肪酸といい、おもに動物性の脂肪に含まれる。不飽和脂肪酸はさらに、一価不飽和脂肪酸と多価不飽和脂肪酸(n-3系とn-6系)に分けられ、n-3系にはα-リノレン酸、DHA(ドコサヘキサエン酸)、EPA(エイコサペンタエン酸)がある。n-3系多価不飽和脂肪酸は魚に多く含まれ、高血圧症や糖尿病の疾患をもつ人に対しては、n-3系多価不飽和脂肪酸の摂取を指導する。

正解 c、d

[問題 90] 保育園より、乳児の保護者を対象に離乳食の講話を依頼された。講話で用いた離乳食の写真(別冊午前 No.33)を別に示す。

講話の内容で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 離乳開始はこの形状から始めてください。
- b 歯ぐきですりつぶせる時にはこの食事形態です。
- c 手づかみが始まったらこの食材を始めてください。
- d 舌で押しつぶせるようになったら食べさせましょう。

選択肢考察

- × a 豆腐入りスープは離乳中期の食物形態である。
- × b 歯ぐきですりつぶせる時には、バナナくらいの硬さが適当である。
- × c 手づかみ食べは離乳後期にみられ、この時期は歯ぐきですりつぶせる硬さが適当である。
- d 粗ごし豆腐入りスープは離乳中期に適した硬さで、舌で押しつぶせるようになったら開始する。

適切な食物形態

- ・離乳初期：ドロドロ(滑らかなヨーグルトくらいの硬さ)
- ・離乳中期：舌でつぶせる程度の硬さ(豆腐くらいの硬さ)
- ・離乳後期：歯ぐきですりつぶせる硬さ(バナナくらいの硬さ)
- ・離乳完了：歯でかみつぶせる硬さ

正解 d

[問題 91] 器具を滅菌する際のオートクレーブの温度はどれか。1つ選べ。

- a 105℃
- b 121℃
- c 147℃
- d 183℃

選択肢考察

- b オートクレーブ(高圧蒸気滅菌器)の滅菌条件は121℃、20分、2気圧である。プリオンを失活させる時は133℃、20分、3気圧に設定する。

正解 b

▶ 歯科保健指導

No.33



5mm角の粗ごし豆腐入りスープ

▶ 歯科診療補助

DH24:P778

[問題 92] 歯周外科処置に用いる器具の写真(別冊午前 No.34)を別に示す。

この器具の使用目的はどれか。1つ選べ。

- a 骨膜の剝離
- b 肉芽組織の除去
- c 歯槽骨の形態修正
- d ポケット底部の印記

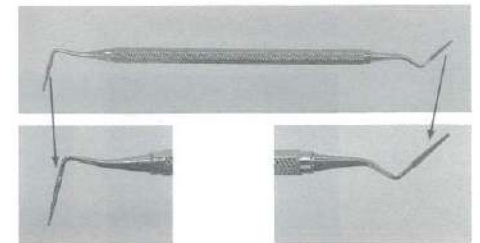
選択肢考察

- × a 骨膜の剝離には粘膜剝離子を用いる。
- × b 肉芽組織の除去にはキュレット型スクレーラーを用いる。
- c 写真の器具はボーンファイルである。歯槽骨の鋭縁部の整理や形態修正に使用する。
- × d ポケット底部の印記は新付着術および歯肉切除術で行い、クレーン・カプランのポケットマーカーを用いる。

正解 c

▶ 歯科診療補助

No.34



[問題 93] 65歳の女性。下顎前歯部の動揺を主訴として来院した。口腔内写真(別冊午前 No.35)を別に示す。4-META/MMA-TBB系の接着性レジンセメントを使用して暫間固定を行うことになった。

準備するのはどれか。1つ選べ。

- a ポリアクリル酸
- b リン酸エッチング剤
- c デンティンプライマー
- d シランカップリング剤

選択肢考察

- b 接着性レジンセメントは歯面処理が必要である。エナメル質同士の接着であるため、リン酸エッチング剤を用いる。

正解 b

▶ 歯科診療補助

No.35

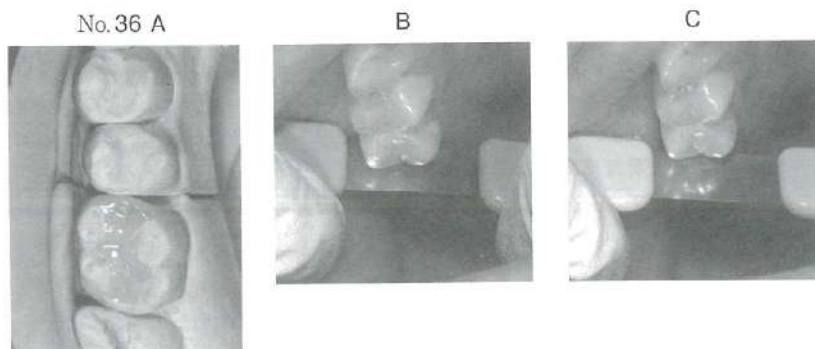


【問題 94】 30歳の女性。上顎右側第一大臼歯の一過性の冷水痛を主訴として来院した。セラミックインレー修復を行うことになった。完成したインレーの写真(別冊午前 No.36 A)と試適時の口腔内写真(別冊午前 No.36 B、C)を別に示す。

次に行う操作はどれか。1つ選べ。

- a 合着
- b 咬合調整
- c 仕上げ研磨
- d 接触点部の調整

▶ 歯科診療補助



選択肢考察

- a 外力(主に咬合力)による破折を防ぐために、直ちにレジンセメントによって合着する。
- × b セラミックインレーは脆性材料のため破折しやすく、咬合調整は合着後に行う。
- × c 仕上げ研磨は模型上で一応終了しているが、最終的には合着後に行う場合もある。
- × d 接触点部の調整は写真 B、C にて適切に終了している。

正解 a

【問題 95】 高齢無菌顎患者の誤嚥防止に関して、印象採得時の対応で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 体位は坐位で行う。
- b 頭位は頭部後傾で行う。
- c 流動性の良い印象材を用いる。
- d トレーを前歯部から臼歯部に向けて圧接する。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a 印象採得時の体位は坐位が推奨されている。
- × b 高齢者に限らず、印象採得時にわざわざ頭部を後屈させて行うことはない。
- × c 流動性は低いもののほうが安全である。
- × d トレーは臼歯部から前歯部に向けて圧接する

正解 a

次の文を読み、【問題 96】、【問題 97】に答えよ。

78歳の女性。介護保険施設に入所している。口腔健康管理を行うことになった。患者に装着した機器の写真(別冊午前 No.37)を別に示す。

【問題 96】 測定しているのはどれか。2つ選べ。

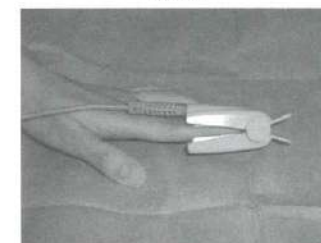
- a 血圧
- b 脈拍
- c 体温
- d 動脈血酸素飽和度

【問題 97】 歯科治療の際、写真(別冊午前 No.37)の対応が必要なものはどれか。2つ選べ。

- a 白血病
- b 糖尿病
- c COPD
- d 脳性麻痺

▶ 歯科診療補助

No. 37



選択肢考察

【問題 96】

- × a、× c ヘモグロビンの吸光度の差から血圧や体温を測定することはできない。
- b、○ d 写真の器具はパルスオキシメーターである。爪下の血液中のヘモグロビンの吸光度の差を利用して動脈血由来の拍動成分を感知し、脈拍数と動脈血酸素飽和度を測定する。

【問題 97】

- × a、× b 白血病では出血や感染への対応、糖尿病では血糖値の変動や感染への対応が必要であるが、酸素飽和度が低下することはない。
- c、○ d COPD(慢性閉塞性肺疾患)は主に長期にわたる喫煙を原因として、肺や気管支に炎症を生じ気道が細くなる。脳性麻痺では嚥下障害による誤嚥を生じ、呼吸障害を起こしやすい。パルスオキシメーターは必要である。

正解 【問題 96】 b、d  
【問題 97】 c、d

DH24:P880

【問題 98】心肺蘇生に使用する機器の写真(別冊午前 No.38)を別に示す。使用後に直ちに行うのはどれか。1つ選べ。

- a 人工呼吸
- b 胸骨圧迫
- c 意識の確認
- d 呼吸の確認

選択肢考察

- × a、○ b 写真の機器は自動体外式除細動器(AED)である。AEDによる心電図の解析時は傷病者に触れないよう離れる。胸骨圧迫と人工呼吸を中断しなくて良い機種もあるので、音声ガイダンスに従うことが大切である。「電気ショックは不要です」の音声が出たときは、ただちに胸骨圧迫を再開する。電気ショックを行った場合も、すぐに胸骨圧迫を再開する。
- × c、× d 周囲の安全確認の後、傷病者の意識確認をする。呼吸は意識確認の後、緊急通報とAEDの要請をしてから確認する。AED使用後に確認するものではない。

正解 b

▶ 歯科診療補助

No.38



DH24:P844

【問題 99】印象体の写真(別冊午前 No.39)を別に示す。

印象体の消毒に適しているのはどれか。2つ選べ。

- a ホルマリン
- b グルタラル
- c 消毒用アルコール
- d 次亜塩素酸ナトリウム

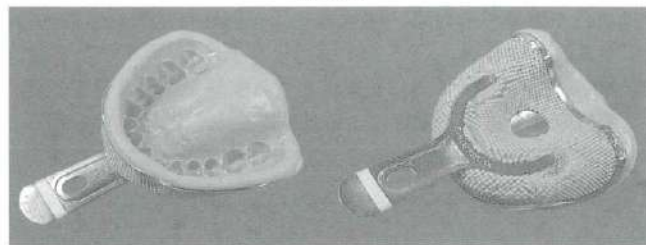
選択肢考察

- × a ホルマリンは印象体表面を粗造にするため、アルジネート印象体の消毒には適さない。
- b、○ d グルタラル、次亜塩素酸ナトリウムは消毒作用も大きく、脱水作用を有しないためアルジネート印象体の消毒に適する。
- × c 消毒用アルコールは脱水作用を有するため、アルジネート印象体の消毒には適さない。

正解 b、d

▶ 歯科診療補助

No.39



DH24:P776

【問題 100】水平位診療で試適中の金属冠が口腔内で落下し見失った。

直後の対応で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 背中を殴打する。
- b 顔を横に向かせる。
- c 起こして吐き出させる。
- d バキュームで口腔内を吸引する。

選択肢考察

- × a 落下した金属冠は口腔内に存在する可能性があるため、直後に背中を殴打することはない。
- b、× d 口腔内に落下した金属冠を咽頭部に到達させないように、顔を横に向かせることを優先させるため、直後にバキュームで口腔内を吸引することはない。
- × c 水平位から起こした時に金属冠が咽頭部に到達する可能性があるため起こさない。

正解 b

▶ 歯科診療補助

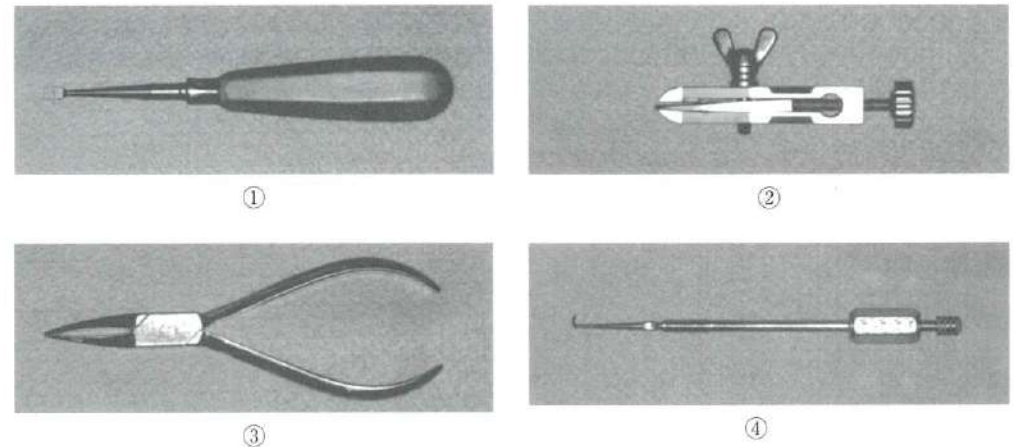
【問題 101】器具の写真(別冊午前 No.40)を別に示す。

クラウンの除去に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

No.40



選択肢考察

- a ① はリムービングドライバーである。クラウンに入れた切断線に差し込み“てこ”の作用を応用して撤去する。
- × b ② は合釘除去器(リトルジャイアント®)である。根面より上に出ている部分を細く削り、器具の横に付いているナットを締めてメタルコアを固定後、器具上部に付いているネジを回して除去する。
- × c ③ はホウプライヤーである。口腔内では、ワイヤーによる菌間分離や結紮に使用する。
- d ④ はインレークラウンリムーバーである。先端にクラウンの辺縁を引っかけて撤去方向に力を加えて撤去する。

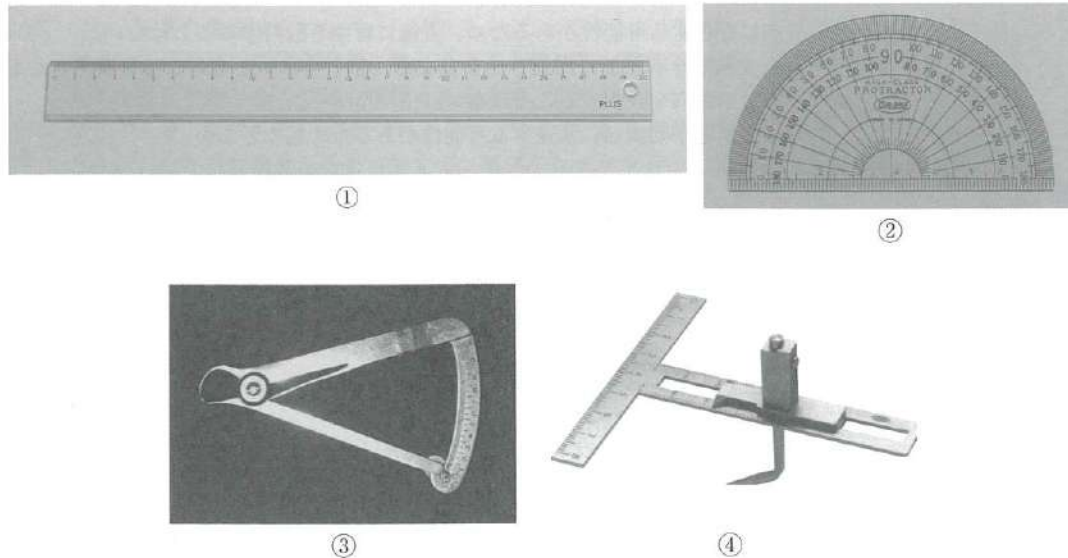
正解 a、d

【問題 102】 器具の写真(別冊午前 No.41)を別に示す。

模型計測項目と使用器具との組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 歯列弓長径 ————— ①
- b 歯列弓幅径 ————— ②
- c 歯槽基底弓幅径 ————— ③
- d 歯槽基底弓長径 ————— ④

No.41



選択肢考察

- × a、○ d ①は直線定規、②は分度器、③はデジバイス、④は大坪式模型計測器をそれぞれ示している。歯列弓長径は左右第一大臼歯遠心面を結ぶ線と中切歯端までの垂直距離である。歯槽基底弓長径は中切歯部の唇側歯肉最深点から咬合平面に平行に左右第一大臼歯遠心面までの距離である。歯槽基底弓幅径、歯列弓長径では大坪式模型計測器による計測を行う。
- × b 歯列弓幅径は左右第一小臼歯の頬側咬頭頂間距離で、ノギスで計測する。
- × c 歯槽基底弓幅径は頬側歯肉上で左右第一小臼歯根尖相当部間の距離で、ノギスで計測する。

正解 d

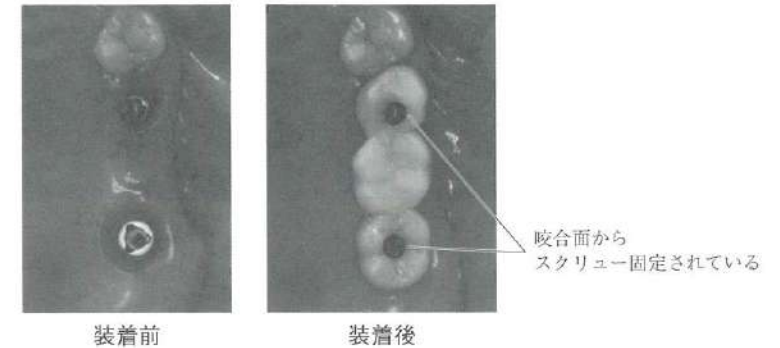
▶ 歯科診療補助

【問題 103】 60歳の男性。上顎左側臼歯部にインプラント埋入手術を行った。その後、暫間補綴装置を装着することになった。暫間補綴装置の装着前後の口腔内写真(別冊午前 No.42 A、B)を別に示す。装着時に準備するのはどれか。2つ選べ。

- a 歯肉圧排糸
- b コンタクトゲージ
- c エキスカペーター
- d 補綴スクリュー用ドライバー

No.42 A

B



▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 暫間補綴装置の装着時に歯肉圧排は行わないため、歯肉圧排糸は必要ない。
- b 近心に天然歯があるため、隣接接触関係の検査にコンタクトゲージを使用する。インプラントに暫間補綴装置を装着する際、隣在歯との接触状態を確認する。
- × c エキスカペーターは軟化象牙質の除去に使用するインストルメントで必要ない。
- d 暫間補綴装置の咬合面に穴が開いており、補綴スクリュー用ドライバーでスクリュー固定する。

正解 b、d

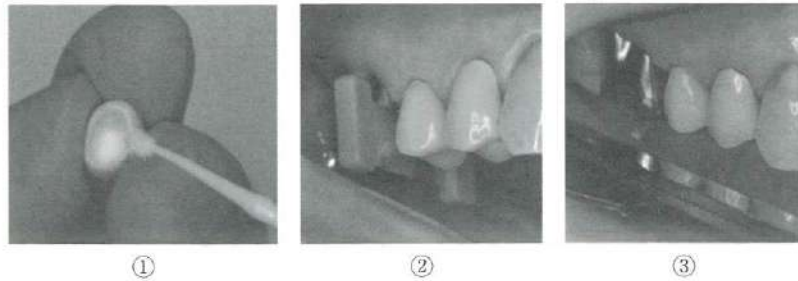
【問題 104】 レジンジャケットクラウンの装着過程の写真(別冊午前 No.43)を別に示す。

正しい装着の手順で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a ①→②→③  
b ①→③→②  
c ②→①→③  
d ②→③→①

▶ 歯科診療補助

No.43



選択肢考察

- c 製作したレジンジャケットクラウンの装着手順は、コンタクトゲージによる隣接接触関係の確認(②)→クラウンの被着面(内面)の処理(①)→咬合紙による咬合接触点の印記と調整(③)である。

正解 c

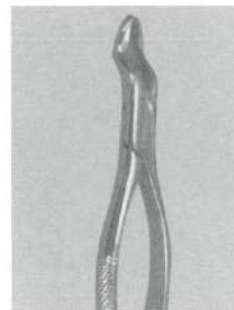
【問題 105】 抜歯に使用する器具の写真(別冊午前 No.44)を別に示す。

適応歯はどれか。1つ選べ。

- a 上顎前歯  
b 上顎臼歯  
c 下顎前歯  
d 下顎臼歯

▶ 歯科診療補助

No.44



選択肢考察

- × a 上顎前歯はアングルのないものを用いる。  
○ b 写真はバイアングルで上顎臼歯部用の鉗子である。  
× c、× d 下顎歯はモノアングルを用いる。

正解 b

DH24:P828

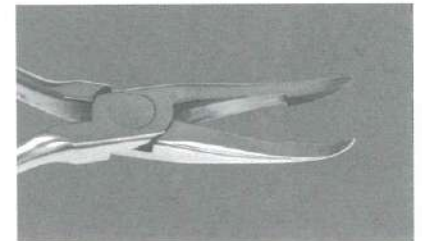
【問題 106】 矯正器具の写真(別冊午前 No.45)を別に示す。

使用目的はどれか。1つ選べ。

- a 結紮線の切断  
b 保定装置の調整  
c ブラケットの撤去  
d アーチワイヤーの着脱

▶ 歯科診療補助

No.45



選択肢考察

- × a 結紮線の切断にはピンアンドリガチャーカッターを用いる。  
× b 保定装置の調整にはヤングプライヤーなどを用いる。  
× c ブラケットの撤去にはブラケットリムービングプライヤーを用いる。  
○ d 写真はユーティリティープライヤーである。ピークは先端にいくに従って細く、なだらかな彎曲をした形状である。ユーティリティープライヤーの用途は多様で、ワイヤーの結紮、アーチワイヤーの着脱適合、バンドの適合、ロックピンの保持などに用いる。

正解 d

【問題 107】 行動調整法を用いた歯科治療中の写真(別冊午前 No.46)を別に示す。

本装置の適用で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 習慣的に使用する。  
b 本人または代諾者の同意は必要ない。  
c 痛みを伴う処置を強行してはならない。  
d 代替手段がない場合の使用に限定する。

▶ 歯科診療補助

No.46



選択肢考察

- × a 写真は器具(レストレーナー)を使用した体動コントロールを示す。器具の使用の習慣化は避けるべきである。  
× b 本人または保護者、家族への十分な理解と同意を得る。  
○ c 原則治療は無痛的に進める。  
○ d 客観的にみても、他に有効な方法がなく体動コントロール(身体抑制法)だけが選択されうる場合に限定される。

正解 c、d

DH24:P519

要点

障害者などに対する歯科診療で、患者の非協力的な行動を適切な行動へ導く方法として行動調整法が応用される。この行動調整法には、行動理論を基礎とする数多くの行動変容技法、精神鎮静法、体動コントロール(身体抑制法)、全身麻酔法などがある。

【問題 108】 血管収縮薬が含有されていない歯科用局所麻酔薬製剤はどれか。1つ選べ。

- a コカイン製剤
- b リドカイン製剤
- c メピバカイン製剤
- d プロピトカイン製剤

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a コカイン製剤を歯科用局所麻酔薬には用いない。
- b、○ d リドカイン製剤にはアドレナリン、プロピトカイン製剤にはフェリプレシンが血管収縮薬として含有されている。
- × c メピバカイン製剤は血管収縮薬を含有しないため、作用時間が30分程度と短い。

正解 c

【問題 109】 53歳の女性。視覚障害のため盲導犬とともに来院した。

適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a 誘導は患者の前を歩く。
- b 盲導犬に食事を与える。
- c 盲導犬は屋外で待たせる。
- d 患者の手で診療椅子を確認させる。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a 誘導は患者のやや前を歩く。
- × b 工作中的盲導犬は飲食をしないように訓練されているため、食事を与えてはいけない。
- × c 盲導犬は可能な限り、患者のそばで待機させる。
- d 診療椅子へ移動させる際には、患者自身の手で座る場所を確認させる。

正解 a, d

DH 24:P501

【問題 110】 機器の写真(別冊午前 No.47)を別に示す。

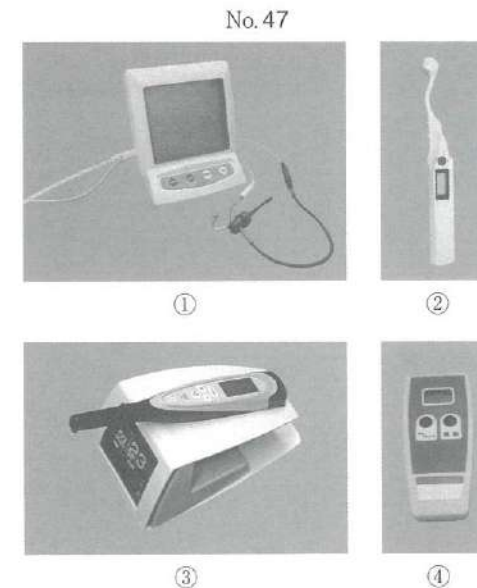
オーラルディアドコキネシスの測定に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a ①は電気的根管長測定器である。根管内にファイル挿入していき際の電気抵抗値を測定しながら、根管長を求める機器である。
- × b ②は口腔水分計(ムーカス®)で、舌背粘膜の湿潤度を評価し、27.0未満で該当ありと判断する。
- × c ③はレーザー蛍光強度測定装置(ダイアグノデント®)で、歯面に655nmのレーザー光を照射することで起こる蛍光反射を測定し、う蝕を検出する装置である。
- d ④はオーラルディアドコキネシスの測定器(健口くんハンディ®)である。オーラルディアドコキネシスは口腔機能(特に口唇、舌)の巧緻性および速度を評価する方法である。被験者に「パ」「タ」「カ」の単音節をそれぞれ10秒間ずつにできるだけ早く繰り返し発音させて、1秒あたりの発音回数を測定する。いずれかの音節の値が6回/秒未満で、舌口唇運動機能低下に「該当あり」と判断する。



正解 d

DH 24:P536

要点

口腔機能低下症の検査には、口腔衛生状態、口腔乾燥、咬合力、舌口唇運動機能、舌圧、咀嚼機能、嚥下機能の7項目がある。

	検査項目	検査内容	検査法・検査機器	該当基準
口腔環境	① 口腔衛生状態不良(口腔不潔)	舌苔付着程度	視診(Tongue Coating Index)	50%
	② 口腔乾燥	粘膜湿潤度	口腔水分計(ムーカス)	27.0未満
唾液量		サクソソステ	2.0g/2分以下	
個別の口腔機能	③ 咬合力低下	全歯列最大咬合力	感圧フィルム(デンタルプレスケールII)	500N未満
		残存歯数(残根、動揺度3の歯を除く)	視診	20本未満
④ 舌口唇運動機能低下	オーラルディアドコキネシス(/pa/, /ta/, /ka/それぞれの音節の発音回数)	自動計測機(健口くんハンディ)	どれか1つでも、6回/秒未満	
		IC法、電卓法、ペン打ち法など		
⑤ 低舌圧	最大舌圧	舌圧測定器(JMS舌圧測定器)	30kPa未満	
統合された口腔機能	⑥ 咀嚼機能低下	グミ咀嚼後のグルコース溶出量	咀嚼能力検査システム(グルコセンサー)	100mg/dL未満
		グミ咀嚼後の視覚的紛糾度判定	咀嚼能率スコア法(咀嚼能力測定用グミゼリー)	スコア2以下
⑦ 嚥下機能低下	主観的嚥下機能評価	自記式質問紙法(EAT-10)	3点以上	
		質問紙法(観察記録でも可)(聖隷式嚥下質問紙)		Aが1つ以上

出所：公益社団法人日本歯科医師会「歯科診療所におけるオーラルフレイル対応マニュアル2019年版」